

IDWR

2026年第6週(2月2日~2月8日)

静岡県

Infectious Diseases Weekly Report Shizuoka

感染症週報

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に
基づく感染症発生動向調査より

作成 静岡県健康福祉部感染症対策課／静岡県環境衛生科学研究所

(2026年2月16日公開)

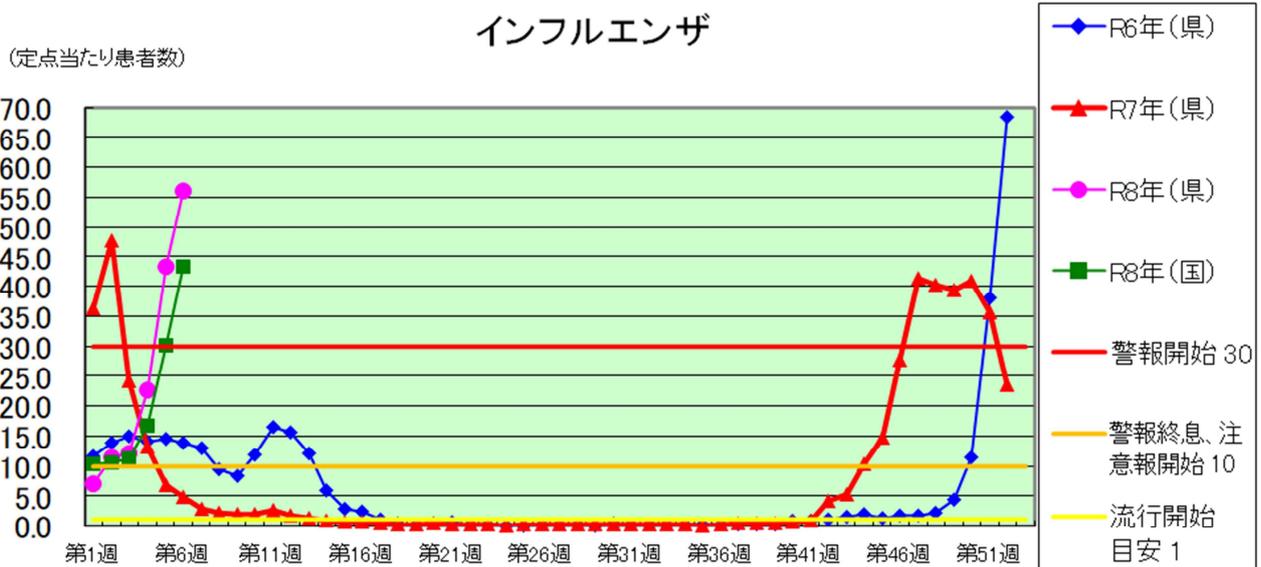
インフルエンザが再び警報レベルとなっています(第6週56.00)

インフルエンザの発生動向調査は、9月1日から新シーズン(2025-2026シーズン)となり、新シーズン7週目となる、2025年第42週(10/13~19)の感染症発生動向調査で、静岡県内のインフルエンザの定点当たり患者数が流行開始の目安とされている1以上となり(第42週:4.23)、流行期となりました。第44週(10/27~11/2)には注意報開始基準の10を超え(第44週:10.40)、注意報レベルとなり、第47週(11/17~23)には警報開始基準の30を超え(第47週:41.26)、警報レベルとなりました(記録が残る2002年以降、2009年、2023年と並び、最も早い警報入りです(2009年第47週(11/16~)、2023年第47週(11/20~)))。その後、横ばいの状況が続きましたが、2026年第1週(12/29~1/4)には6.94となり、警報終息基準値の10を下回りました(警報の期間:2025年第47週~2025年第52週(11/17~12/28))。その後、2026年第2週(1/5~11)には11.55となり、再度10を上回り注意報レベルとなり、第5週(1/26~2/1)には、30を上回り、再び警報レベルとなっています。

いったん終息した後、再び警報レベルとなっており、定点医療機関からの報告では第3週(1/12~18)以降、インフルエンザB型がA型よりも多くなっていることから、今後、さらに流行が拡大することも考えられます。県民の皆様には、引き続き、咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策に努めていただくとともに、ワクチン接種を検討していただくようお願いします。

※インフルエンザの定点当たり患者数とは、県内139の内科・小児科定点医療機関から報告された1週間の患者数を施設数139で割った数値です。

※流行開始の目安とされている定点当たり患者数は1、注意報レベルは10、警報レベルの開始は30、警報レベルの終息は10です。



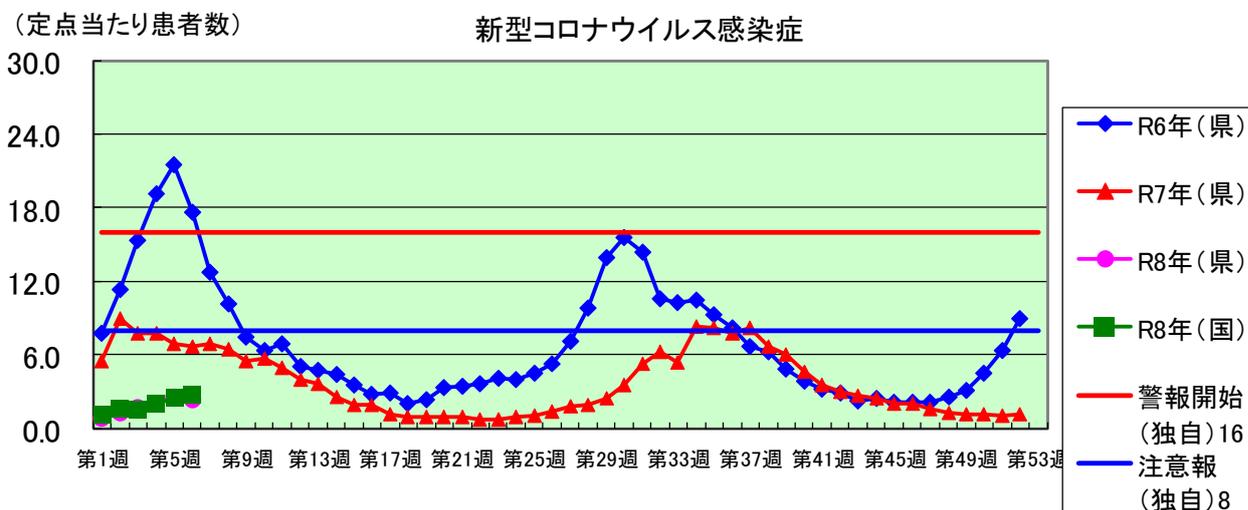
新型コロナウイルス感染症感染拡大注意報は解除されています (第6週 2.37)

2025年第34週(8/18~24)の定点あたり患者数が8.34と注意報基準値の8を超えたため、8/29に感染症拡大注意報を発令しました(昨年は第30週(7/22~28)がピークで定点あたり患者数が15.60、注意報は7/19~9/19の約9週間続きました)。第36週(9/1~7)は、7.80と基準値の8を下回ったため、感染拡大注意報を解除しましたが、第37週(9/8~14)に8を超えたため、再度、注意報を発令しました。第38週(9/15~21)は、6.65と基準値の8を下回ったため、感染拡大注意報は解除されています。(注意報期間:8/29~9/11、9/19~25)。

なお、9月に入ってからコロナ患者さんは、学校の新学期が始まったためか、20歳未満が全体の4割を占めています。

感染拡大注意報基準である定点あたり8人を下回りましたが、例年、年始に増加する傾向がありますので、県民の皆様には、引き続き、咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策に御協力をお願いします。

県内の新型コロナウイルスの変異株の状況は、4月頃から新たにNB.1.8.1系統が県内でも検出され、6月にはゲノム解析件数が4件と少ないですが、全てNB.1.8.1系統でした。また、7月には8検体中、6検体がNB.1.8.1系統です。現時点ではNB.1.8.1系統によって重症者が増えるという情報はなく、県内のコロナの入院患者数も少ない状況です。



RSウイルス感染症は再増加しています(第6週 0.38)

RSウイルス感染症の定点医療機関当たり1週間の報告数が、2025年第10週において1.07人と1を超えましたので、県は流行期に入ったと判断しました(RSウイルス感染症には、国が定める注意報や警報の基準値はありませんが、静岡県では0.5で「流行が始まる可能性あり」、1以上で「流行期に入っている」と考えています。)

静岡県内のRSウイルス感染症の定点医療機関当たり1週間の報告数は、第5週(1/27~2/2)に0.64で、0.5を超え、第10週(3/3~9)と第11週(3/10~16)に1台になり、その後も0.5~0.8付近を推移していましたが、第19週は0.2台に下がりました。その後は0.1台の週が多くなっていましたが、第27週(6/30~7/6)以降は0.2台となり、第29週(7/14~20)は0.4台に増加し、第33週(8/11~17)には再び1を超え、第37週(9/8~14)には2を超えました。第43週(10/20~26)には0.74と、1を下回りましたが、春の流行が小規模でしたので、今後しばらく発生数が増加し、流行が続く可能性があります。県内の患者の年齢は、80%以上が2歳以下です。

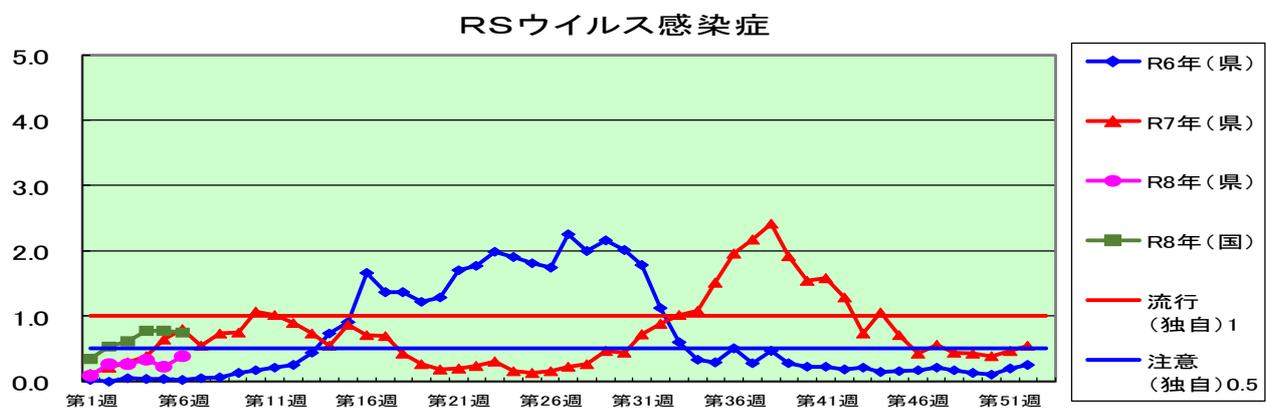
RSウイルス感染症は、飛沫感染(咳、くしゃみの飛び散り)や接触感染(鼻水や痰、だ液等を触る)でうつります。うつってから発症するまでの潜伏期間は約5日、人にうつす感染期間は発症後約1週間です。

症状は、発熱、咳、鼻水、喘鳴(ゼーゼー、ひゅーひゅーの呼吸)です。年長児や成人では、軽いかぜ症状ですむ場合も多いですが、乳児早期(特に2か月以下の赤ちゃん)に感染した場合は、急性細気管支炎や肺炎となり、哺乳低下や呼吸困難で入院したり、さらには人工呼吸管理を要したりすることもあります(感染した乳幼児の約30人に1人は入院するという報告もあります)。

RSウイルス感染症専用の有効な治療法はなく、水分補給の点滴や酸素投与などの対症療法のみです。赤ちゃんがいる家庭では、かぜ症状のある方から赤ちゃんにうつさないようにマスク着用や手洗いを励行してください。赤ちゃんが、咳鼻水やゼーゼーで、ミルクの飲む量が減ってきたら、早めに小児科医院を受診しましょう。

この感染症の詳しい説明は、国立健康危機管理研究機構(JIHS)の感染症情報提供サイトを御覧ください。

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/alphabet/rs/010/rs-intro.html>



百日咳が流行しています(第 6 週 2 人)

2025 年第6週(2/3～)以降、1週間に1～2人の百日咳患者が県内医療機関から報告されることが多くなっていましたが、第14週(3/31～4/6)に5人となり、第15週(4/7～13)は21人と急増しました。その後は第20週(5/12～18)までは20人前後が続いた後、第21週(5/19～25)に40人まで増えてからは毎週増加し、**第28週(7/7～14)は84人となり、全数把握感染症となった2018年以降の最高値を更新しました。**(それまでの過去最高値は、2025年第26週(6/23～29)80人です。)発生数は徐々に減少し、第39週(9/22～28)には19人まで減少しました。2025年末から、減少傾向にあります。今後、再度増加する可能性もあります(第6週2人:賀茂1 静岡市1)。

コンコンという咳が連発してよる眠りにくい場合には、マスク可能な方は着用して、早めに受診しましょう。

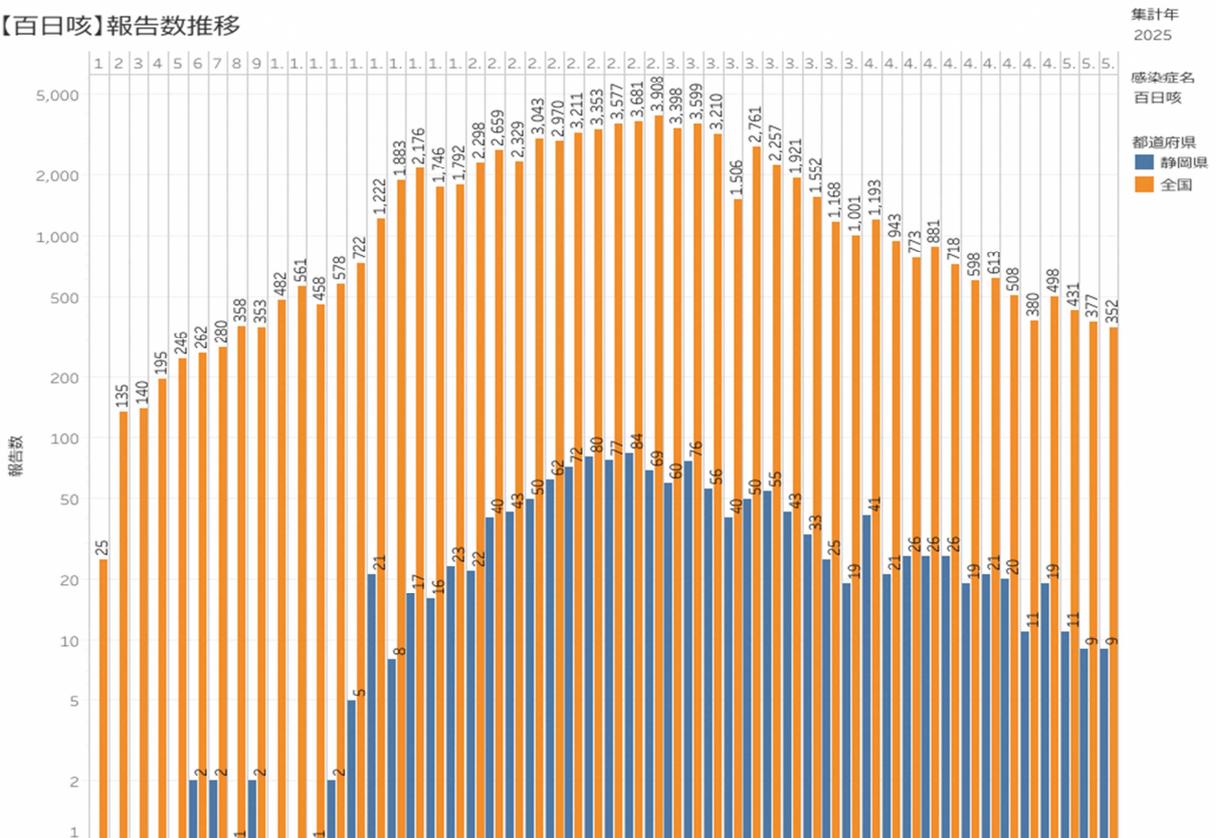
年齢分布では10～14歳が最多で、続いて5～9歳が多くなっています。百日咳を含むワクチンをまだ打っていない赤ちゃんがいる家庭で、兄弟が咳症状がある場合には赤ちゃんに近づかないようにしてください。

なお、生後6か月以下の赤ちゃんが百日咳にかかると呼吸がしにくくなるなど重症になる場合がありますので、2か月になったらすぐに5種混合ワクチン(百日咳ワクチンを含んでいます)を接種しましょう。また、咳のひどい人は赤ちゃんの世話を避けることも大切です。

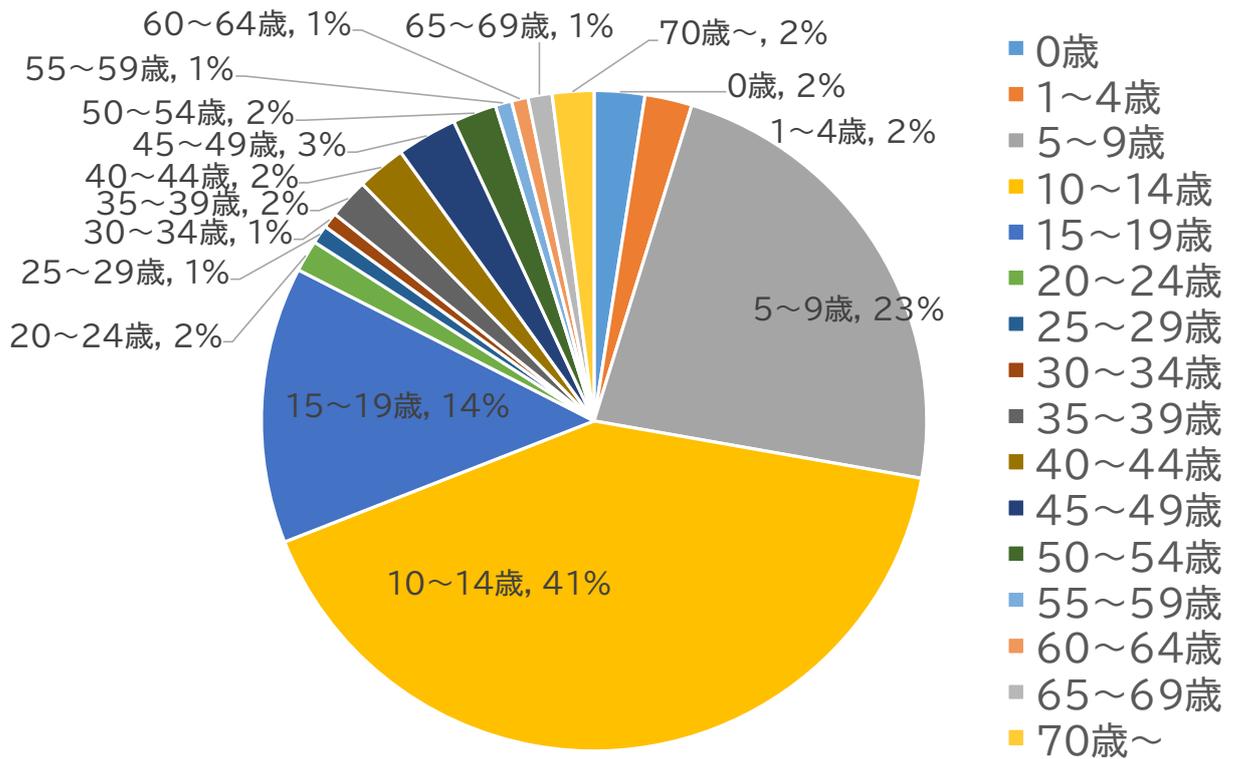
この感染症の詳しい説明は、国立健康危機管理研究機構(JIHS)の感染症情報提供サイトを御覧ください。

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/pertussis/010/>

【百日咳】報告数推移



年齡分布(2025年~2026年 累計1,875人)



伝染性紅斑の警報レベルは終息しました(第6週 0.22)

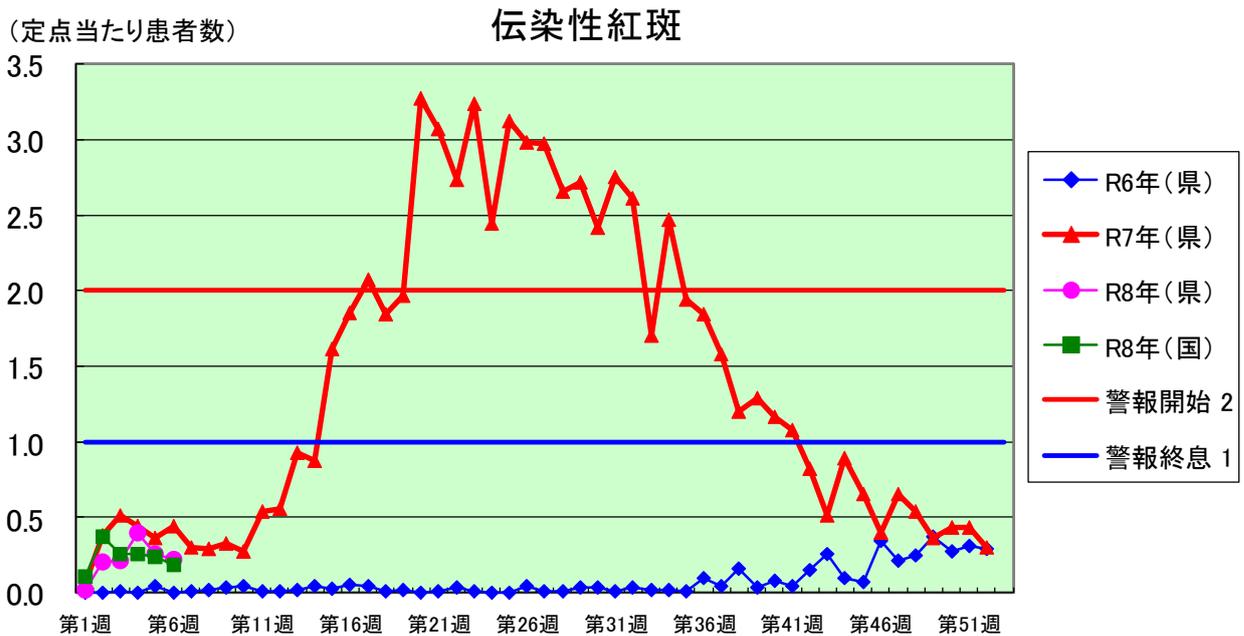
伝染性紅斑が、2025年第3週(1/13~19)の0.51以来、0.5を超えることが続いていましたが第17週(4/21~27)に警報基準値の2を超えました。第42週(10/13~19)は0.82となり、警報終息基準値の1を下回りました。(警報レベルの期間は25週間(4/21~10/12)でした。)

警報レベルとなったのは、2011年第25週(6/21~27)以来で、その時は第28週(7/12~18)まで継続しました。2025年第20週(5/12~18)には3.27となり、記録が残る2006年以降の最高値となりました。(これまでの過去最高値は、2011年第25週(6/20~26)の2.57です。)

直近の県内では、伝染性紅斑にかかる人は3~9歳の子どもが主になっています。子どもがかかっても、軽い風邪症状のあと、両頬や腕に淡いピンクの発疹が出ては消えるだけのことがほとんどで心配は要りません。

妊婦さんがかかると赤ちゃんがしんどくなることがありますので、妊婦さんで多数の子どもに接する方は、かからないようにマスク着用が望ましいです。

家族が伝染性紅斑になった場合、妊婦さんは産科医院に相談してください。



マイコプラズマ肺炎が流行しています(第 6 週 0.3)

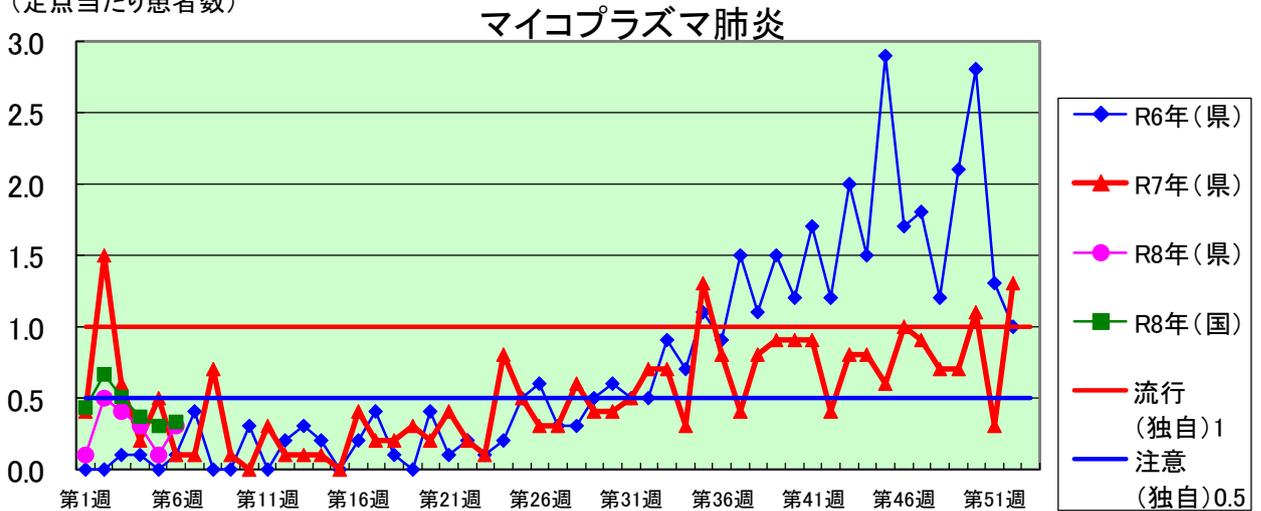
マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマによる細菌感染症です。感染経路は、主に飛沫感染と接触感染で、家族内や学校など濃厚接触が多い場所で、しばしば集団発生が起きます。潜伏期間は2～3週間程度で、主な症状は発熱、全身倦怠感、頭痛、咳などで、解熱後も咳が長く続くことがあります。必ずしも肺炎にならず、上気道炎や気管支炎も多いです。全年齢層に感染が見られますが、若年齢層に多く、14歳以下が6～8割を占めます。過去の疫学調査研究では、3～7年程度に1回国内で大きな流行が起こっています。

2024年第29週(7/15～21)以降、定点当たり患者数※0.5以上が続き、第35週(8/26～9/1)は1.1となりました。国は基準値を定めていませんが、県感染症情報センターでは、0.5以上が継続した場合、流行が始まる可能性あり、1以上では確実に流行していると考えています。(県内の定点当たり患者数が1以上となったのは、2019年第51週(12/16～22)以来です。)

2025年に入ってから、第2週(1/6～12)に1.5まで上昇しましたが、その後は0～0.8(平均0.3)で推移していました。第35週(8/25～31)は再度1を超え、1.3となり、第50週(12/8～14)にも1.1となっています。

マイコプラズマ肺炎の過去の流行では、1、2年間にわたって患者数が多い期間が続いていますので、県民の皆様には、引き続き、人混みでのマスク着用、咳エチケット、適切な換気と手洗いなど、飛沫・接触感染の対策に御協力をお願いします。

(定点当たり患者数)



◆全数届出の感染症

感染症分類	感染症名	保健所名	報告数
2類感染症	結核	熱海	1
		富士	2
		静岡市	2
		西部	1
		浜松市	3
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	中部	1
4類感染症	E型肝炎	中部	1
	レジオネラ症	西部	1
5類感染症	アメーバ赤痢	東部	1
	急性脳炎（リストケル脳炎、日本脳炎等を除く）	浜松市	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	中部	1
	後天性免疫不全症候群	浜松市	1
	水痘（入院例に限る）	中部	1
	梅毒	東部	1
		西部	2
	百日咳	浜松市	2
	賀茂	1	
	静岡市	1	

保健所別の警報状況

警報 インフルエンザ(賀茂、東部、御殿場、富士、静岡市、中部、西部、浜松市)

注意報 インフルエンザ(熱海)

警報・注意報・流行期入りの目安(新型コロナウイルス感染症以外)

区分	説明
警報レベル	大きな流行が発生または継続しつつあると疑われる
注意報レベル	流行の発生前:今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高い 流行の発生後:流行が継続していると疑われる
流行入りの目安 (インフルエンザのみ)	定点医療機関あたり患者数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられる

※1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-
感染性胃腸炎	20.0	12.0	-
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	-
伝染性紅斑	2.0	1.0	-
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

警報・注意報の目安(新型コロナウイルス感染症)

新型コロナウイルス感染症の警報・注意報の基準値は、静岡県が独自に設定しています。注意報レベルは、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を保健所ごとに設定し、感染者が急増するおそれがある状況を指します。警報レベルは、人口10万人当たり400人以上となった水準を設定し、感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況を指します。国が基準値を設定するまでの間、暫定的にこの基準値に基づき注意喚起します。

新型コロナウイルス感染症(県独自)		
保健所名	注意報基準値	警報基準値
賀茂	13.0	26.0
熱海	9.0	18.0
東部	8.0	16.0
御殿場	17.0	34.0
富士	11.0	22.0
県東部地域	10.0	20.0
静岡市	6.0	12.0
中部	8.0	16.0
県中部地域	7.0	14.0
西部	10.0	20.0
浜松市	7.0	14.0
県西部地域	8.0	16.0
県全体	8.0	16.0

感染症発生動向調査
令和8年第6週(2/2~2/8)の動向
警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値(開始基準値)以上で開始し、別の基準値(終息基準値)未満で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合です。警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

【五類感染症(定点把握)の追加:急性呼吸器感染症(ARI)】

将来的なパンデミックに備え、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等、すでに感染症発生動向調査の対象疾病となっている感染症以外が原因となる急性呼吸器感染症の発生傾向や発生水準を把握する目的で、急性呼吸器感染症(ARI)が、五類定点把握感染症に追加されることとなりました。(令和6年11月29日 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則改正 令和7年4月7日施行)

令和7年第15週から急性呼吸器感染症(ARI)も報告の対象となっています。

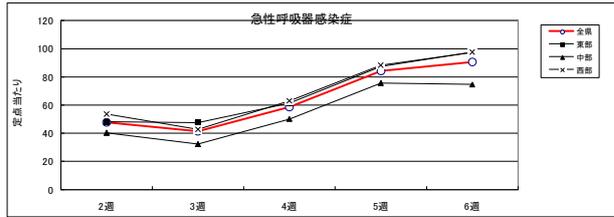
疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

【今週のコメント】

第6週(2/2~2/8)の感染症発生動向調査では、インフルエンザの定点当たり報告数が43.34人となり、前週の43.29人から若干増加しました。警報レベルの開始基準値30を2週連続で超えています。急性呼吸器感染症(ARI)の定点当たり報告数は、90.65人となり前週の84.19人から増加、新型コロナの定点当たり報告数は、2.37人となり前週の2.58人から若干減少しました。

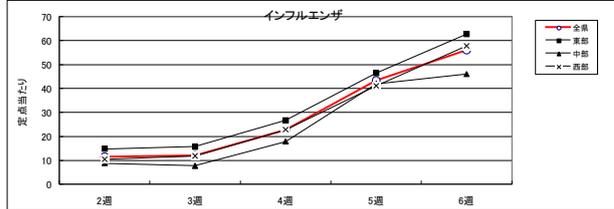
【急性呼吸器感染症】

全県で罹患数12,601、定点当たり90.65の患者発生があり、前週の84.19から増加した。定点当たり東部地区で97.7、中部地区で74.6、西部地区で97.51の患者が発生した。



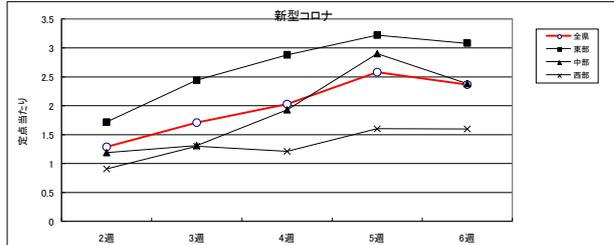
【インフルエンザ】

全県で罹患数7,784、定点当たり56.0の患者発生があり、前週の43.29から増加した。警報レベルの開始基準値30を2週連続で超えている。定点当たり東部地区62.74、中部地区で46.02、西部地区で57.74の患者が発生した。



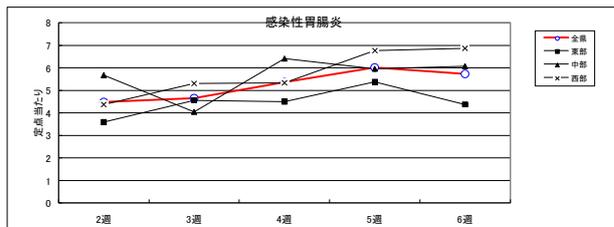
【新型コロナ】

全県で罹患数329、定点当たり2.37の患者発生があり、前週の2.58から減少した。定点当たり東部地区で3.08、中部地区で2.38、西部地区で1.6の患者が発生した。



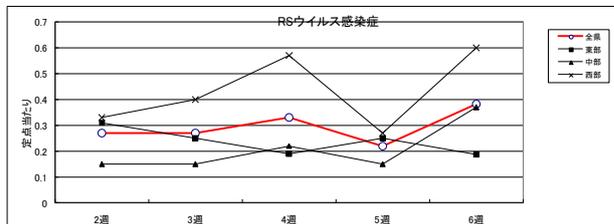
【感染性胃腸炎】

全県で罹患数510、定点当たり5.73の患者発生があり、前週の6.02から減少した。定点当たり東部地区で4.38、中部地区で6.07、西部地区で6.87の患者が発生した。



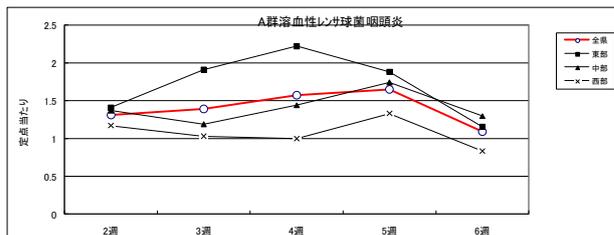
【RSウイルス感染症】

全県で罹患数34、定点当たり0.38の患者発生があり、前週の0.22から増加した。定点当たり東部地区で0.19、中部地区で0.37、西部地区で0.6の患者が発生した。



【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

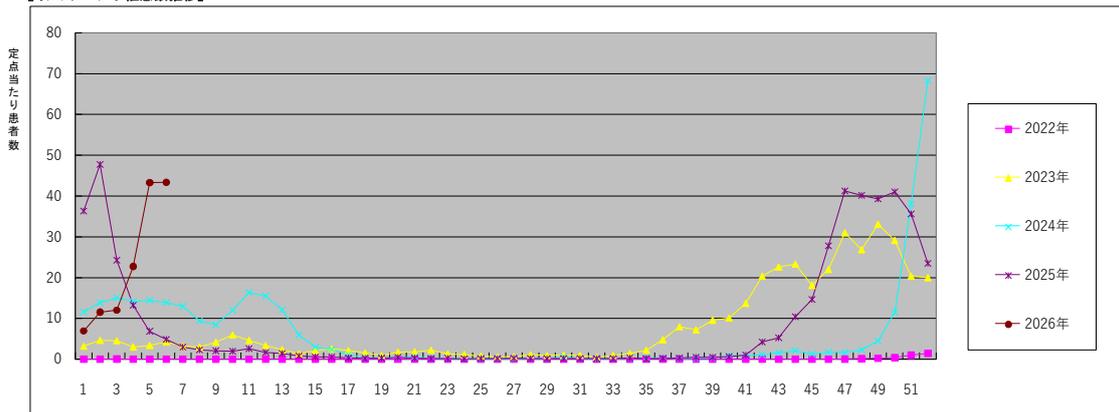
全県で罹患数97、定点当たり1.09の患者発生があり、前週の1.65から減少した。定点当たり東部地区で1.16、中部地区で1.3、西部地区で0.83の患者が発生した。



【その他】

- ・麻疹、風疹は患者発生なし。
- ・全国のインフルエンザの定点当たりの患者報告数は43.34で前週の30.03から増加し、警報レベルの開始基準値30を2週連続で超えた。警報レベルの保健所を有する都道府県は43から47に増加、注意報レベルの保健所を有する都道府県も44から46に増加した。
- ・全国の新型コロナの定点当たりの患者報告数は2.71で前週の2.49から若干増加した。
- ・静岡県において第6週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)急性呼吸器感染症(90.65)、2)インフルエンザ(56.0)、3)感染性胃腸炎(5.73)、4)新型コロナ(2.37)、5)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(1.09)、6)RSウイルス感染症(0.38)であった。

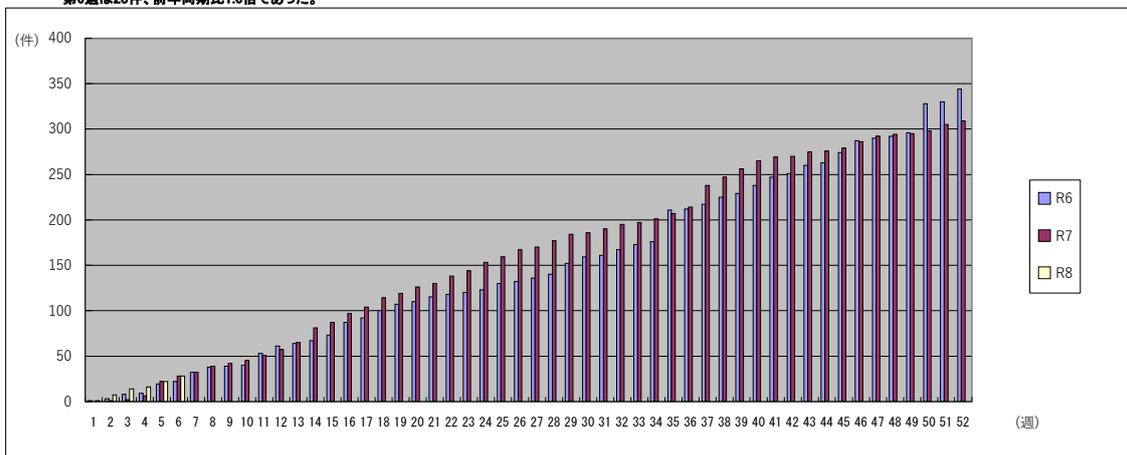
【インフルエンザ罹患数推移】



【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況(2025/2026シーズン)】 (令和7年第36週～)

週	型	A/H1	A/H3	B/山形	B/Victoria
		pdm09		系統	系統
R7年 第36週～第41週	静岡県	2			2
	静岡市				
	浜松市				
R7年 第42週～第45週	静岡県		13		2
	静岡市	1	2		
	浜松市	1	1		
R7年 第46週～第50週	静岡県		9		
	静岡市		4		
	浜松市		20		
R7年 第51週	静岡県	1	6		
	静岡市		2		
	浜松市		4		
R7年 第52週	静岡県				
	静岡市		1		
	浜松市		2		
R8年 第1週	静岡県		2		
	静岡市				
	浜松市				
R8年 第2週	静岡県				
	静岡市		3		
	浜松市				
R8年 第3週	静岡県				
	静岡市				
	浜松市		2		1
R8年 第4週	静岡県				
	静岡市				1
	浜松市				
R8年 第5週	静岡県				
	静岡市				1
	浜松市				
R8年 第6週	静岡県				1
	静岡市				
	浜松市				1
合計		5	71	0	9

【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】
・第6週は28件、前年同期比1.0倍であった。



急性呼吸器感染症（ARI）について

令和7年4月7日から急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスが始まりました。

急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスは、症例定義に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

平時から、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、県民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が5類感染症となりました。

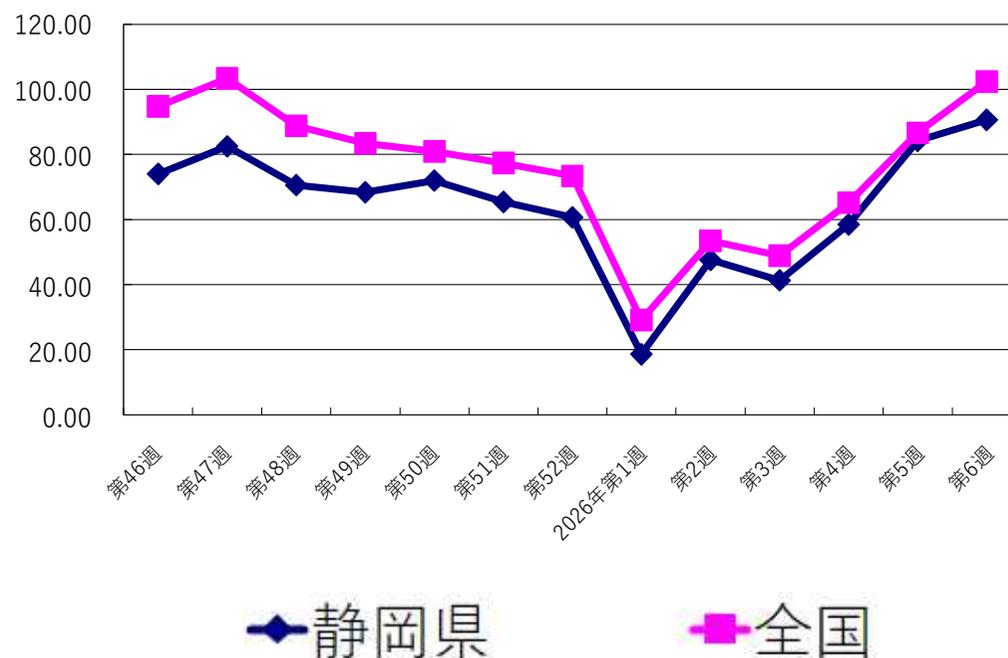
症例定義

咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ異常の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

急性呼吸器感染症(ARI)報告数

報告数は県内139の定点医療機関からの報告数です。

管轄保健所	報告数	定点当たり
県合計	12,601	90.65
賀茂	139	46.33
熱海	220	36.67
東部	1,620	81.00
御殿場	1,716	286.00
富士	1,190	79.33
静岡市	1,972	78.88
中部	1,161	68.29
西部	2,092	110.11
浜松市	2,491	88.96

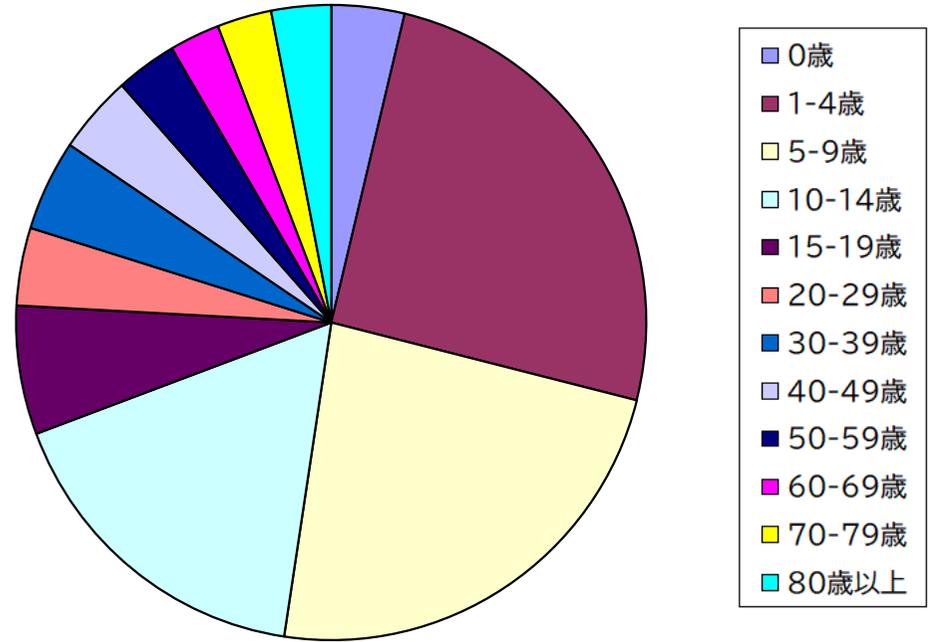
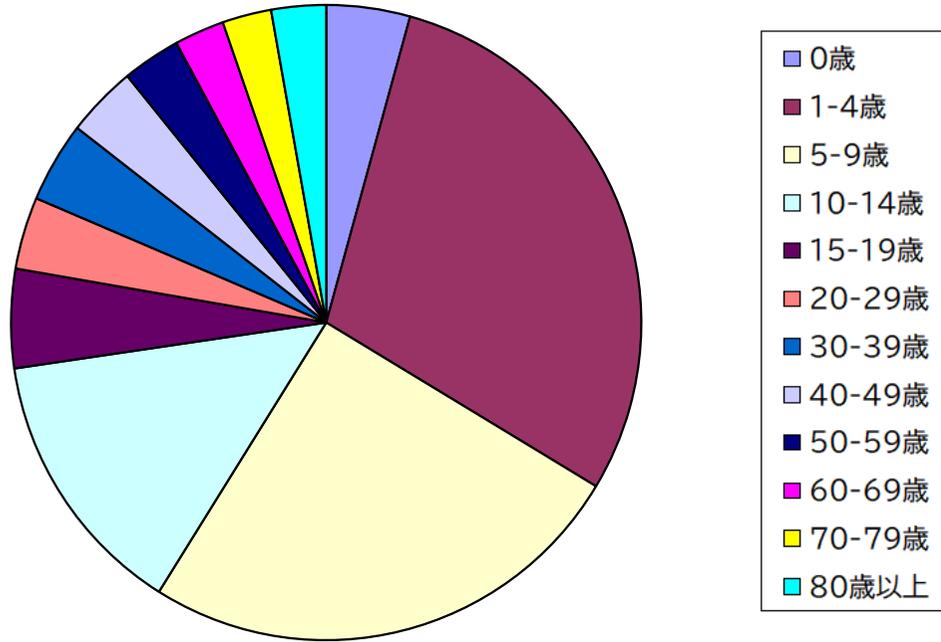


(全国 102.39)

	第46週	第47週	第48週	第49週	第50週	第51週	第52週	2026年 第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週
静岡県	74.01	82.49	70.60	68.40	71.98	65.42	60.69	18.60	47.62	41.30	58.53	84.19	90.65
全国	94.77	103.38	88.80	83.42	80.96	77.34	73.43	29.12	53.43	48.91	65.15	86.68	102.39

急性呼吸器感染症(ARI)年齢別報告割合

2025年第41週～第52週の合計(10/6～12/28) 2026年第1週～第6週の合計(12/29～2/8)



年齢	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳
合計割合	4.3%	29.3%	25.3%	13.8%	5.0%	3.7%

年齢	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳
合計割合	3.7%	25.2%	23.5%	16.9%	6.6%	4.0%

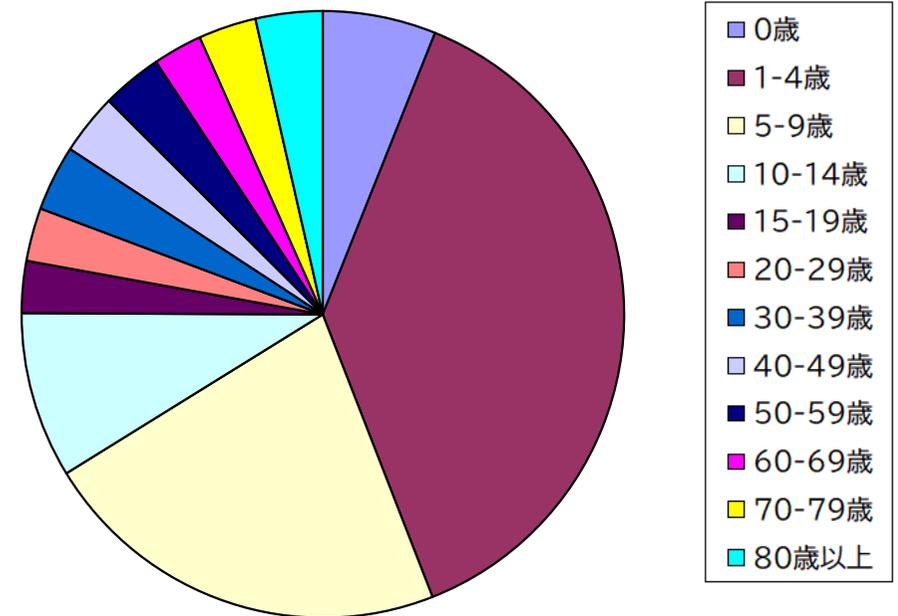
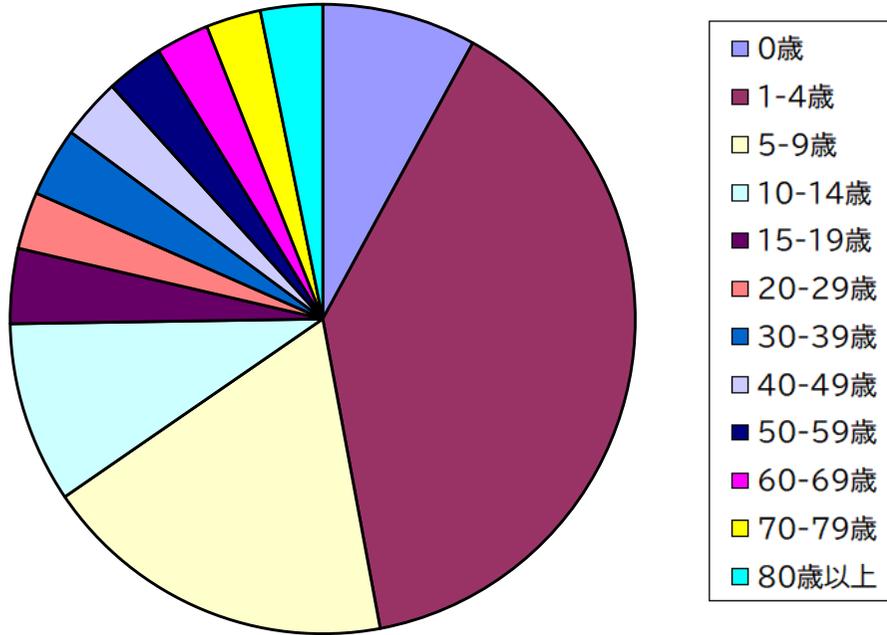
年齢	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
合計割合	4.1%	3.6%	3.0%	2.6%	2.5%	2.8%

年齢	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
合計割合	4.6%	4.0%	3.1%	2.6%	2.8%	3.1%

急性呼吸器感染症(ARI)年齢別報告割合

2025年第15週～第27週の合計(4/7～7/6)

2025年第28週～第40週の合計(7/7～10/5)



年齢	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳
合計割合	7.8%	39.1%	18.7%	9.4%	3.8%	2.9%

年齢	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳
合計割合	6.1%	38.0%	22.2%	8.8%	2.8%	2.8%

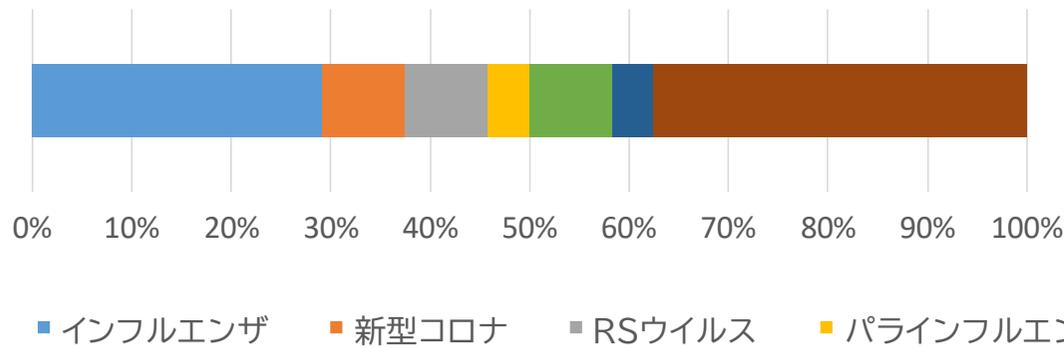
年齢	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
合計割合	3.5%	3.1%	2.9%	2.7%	2.8%	3.2%

年齢	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
合計割合	3.5%	3.3%	3.2%	2.6%	3.1%	3.6%

県内の急性呼吸器感染症病原体定点から提出された検体の検査結果について

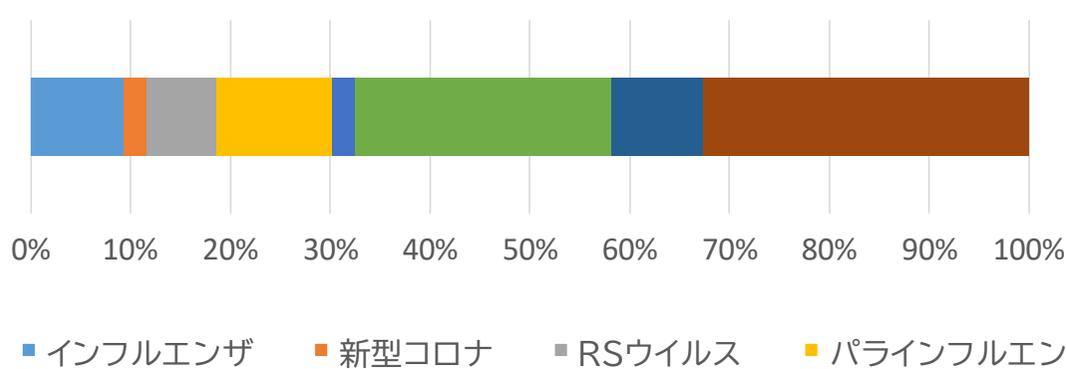
検出割合、検出数合計は2026年第1週～第6週の合計(12/29～2/8)

検出割合(18歳以上)



病原体	インフルエンザ	新型コロナ	RSウイルス	パラインフルエンザ	ヒトメタニューモ	ライノ/エンテロ	アデノ	該当なし
検出割合	29.2%	8.3%	8.3%	4.2%	0.0%	8.3%	4.2%	37.5%
検出数合計	7	2	2	1	0	2	1	9
2026年6週	2	1	0	0	0	0	0	1

検出割合(18歳未満)

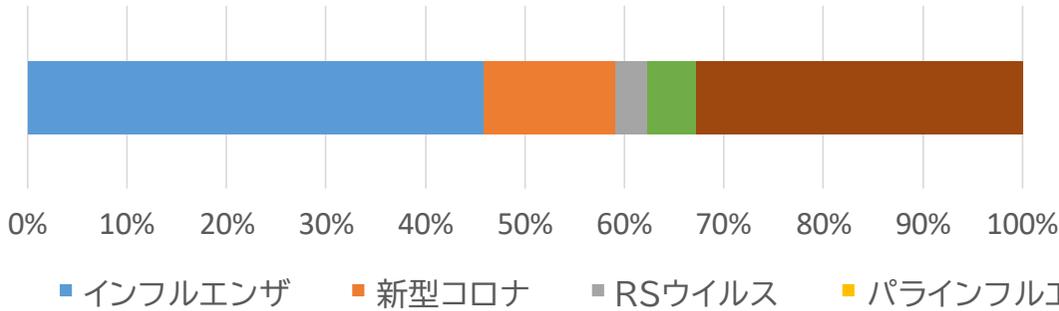


病原体	インフルエンザ	新型コロナ	RSウイルス	パラインフルエンザ	ヒトメタニューモ	ライノ/エンテロ	アデノ	該当なし
検出割合	9.3%	2.3%	7.0%	11.6%	2.3%	25.6%	9.3%	32.6%
検出数合計	4	1	3	5	1	11	4	14
2026年6週	0	0	0	0	1	3	2	2

県内の急性呼吸器感染症病原体定点から提出された検体の検査結果について

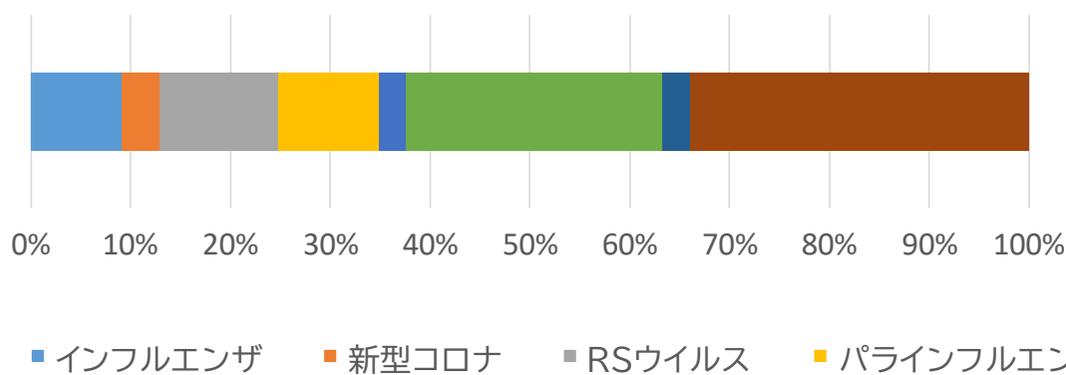
検出割合、検出数合計は2025年第41週～第52週の合計(10/6～12/28)

検出割合(18歳以上)



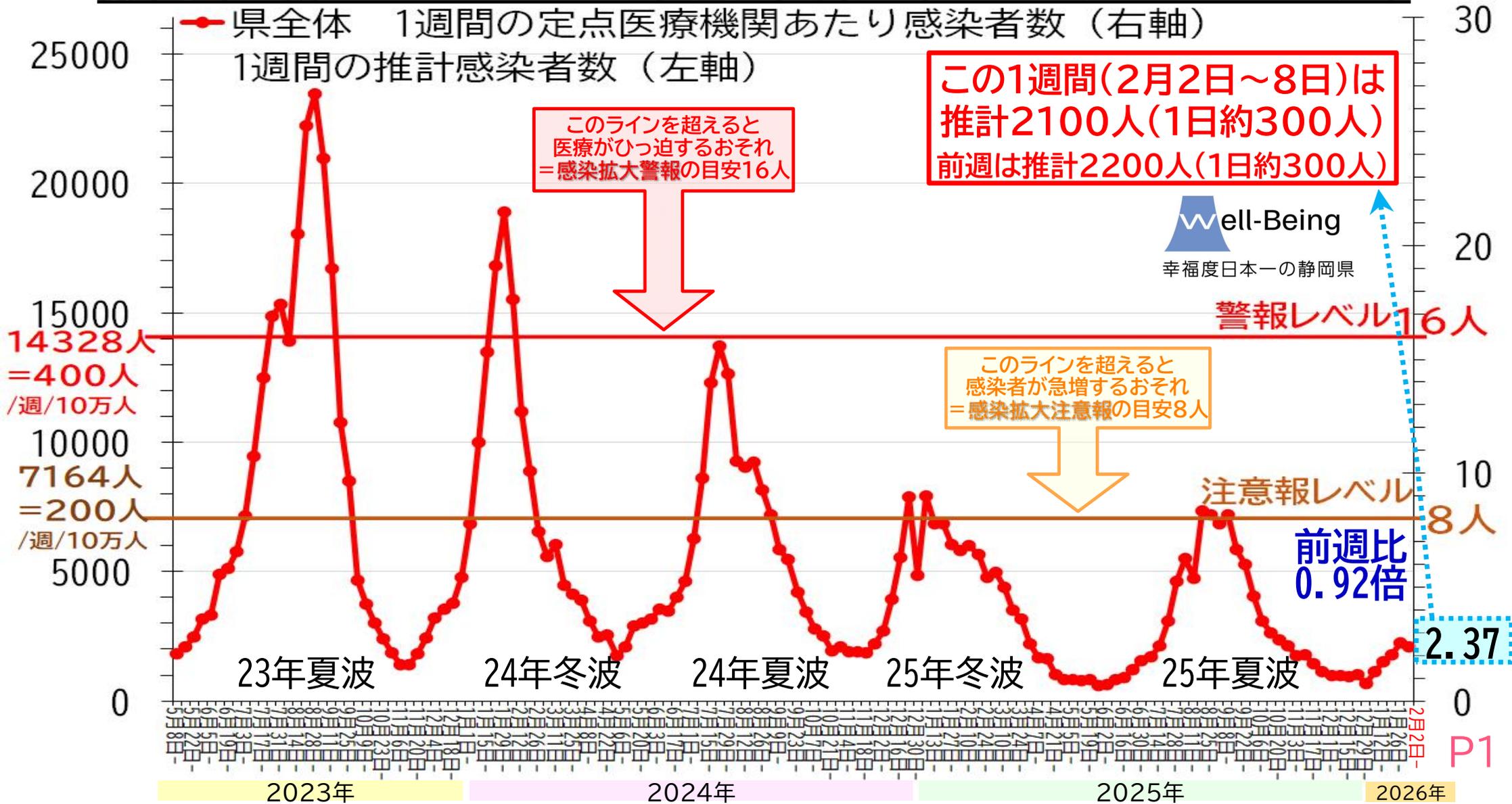
病原体	インフルエンザ	新型コロナ	RSウイルス	パラインフルエンザ	ヒトメタニューモ	ライノ/エンテロ	アデノ	該当なし
検出割合	45.9%	13.1%	3.3%	0.0%	0.0%	4.9%	0.0%	32.8%
検出数合計	28	8	2	0	0	3	0	20
2025年52週	12	0	0	0	0	0	0	3

検出割合(18歳未満)

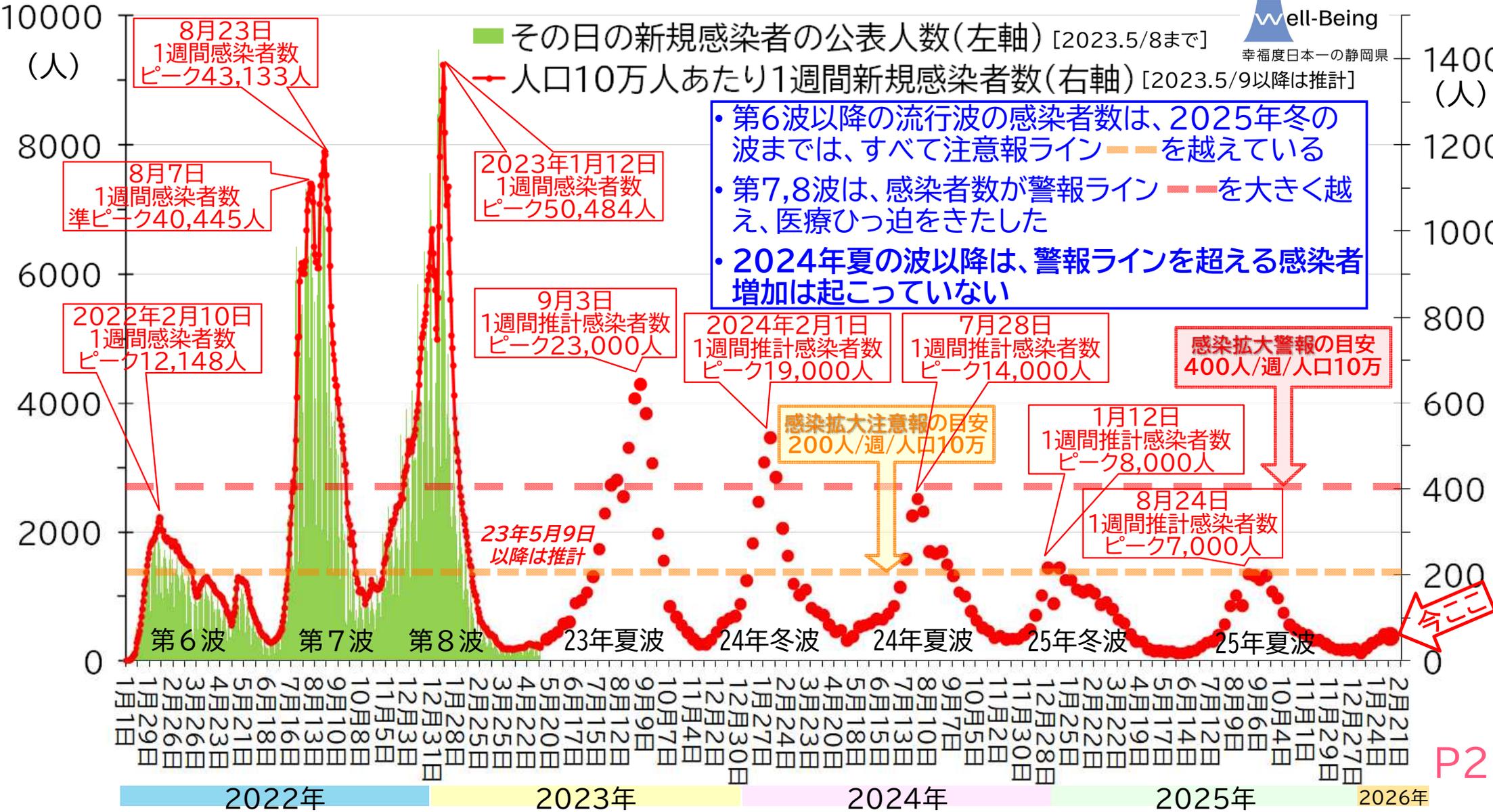


病原体	インフルエンザ	新型コロナ	RSウイルス	パラインフルエンザ	ヒトメタニューモ	ライノ/エンテロ	アデノ	該当なし
検出割合	9.2%	3.7%	11.9%	10.1%	2.8%	25.7%	2.8%	33.9%
検出数合計	10	4	13	11	3	28	3	37
2025年52週	2	0	0	0	0	5	0	5

静岡県 新型コロナ 1週間感染者数(2023.5/8~2026.2/8)

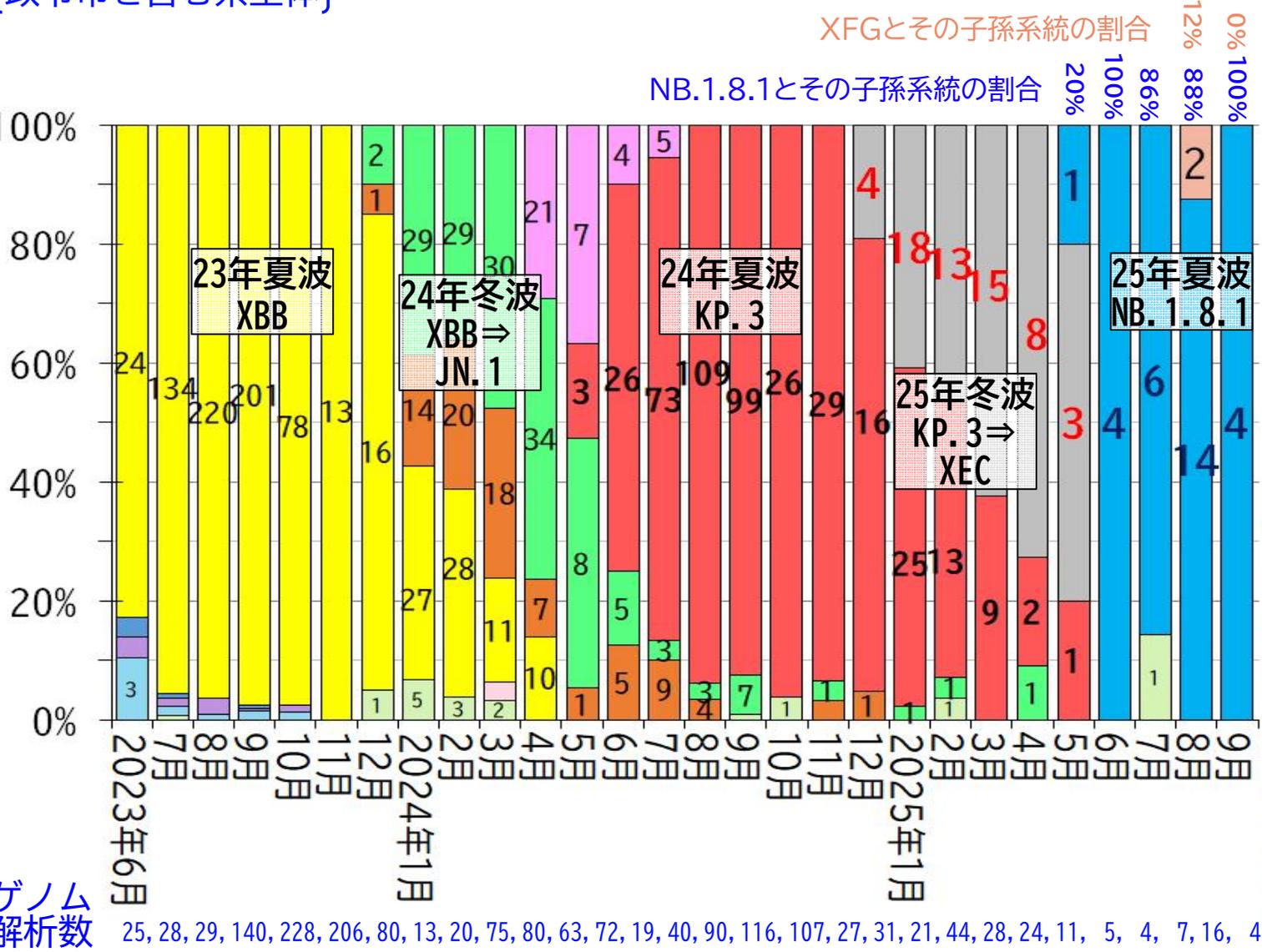


静岡県 新型コロナ オミクロン株以降の感染者数の推移 (2022.1/1~2026.2/8)



静岡県 新型コロナ オミクロン株の系統 月別状況 (2023.4月~2025.9月)

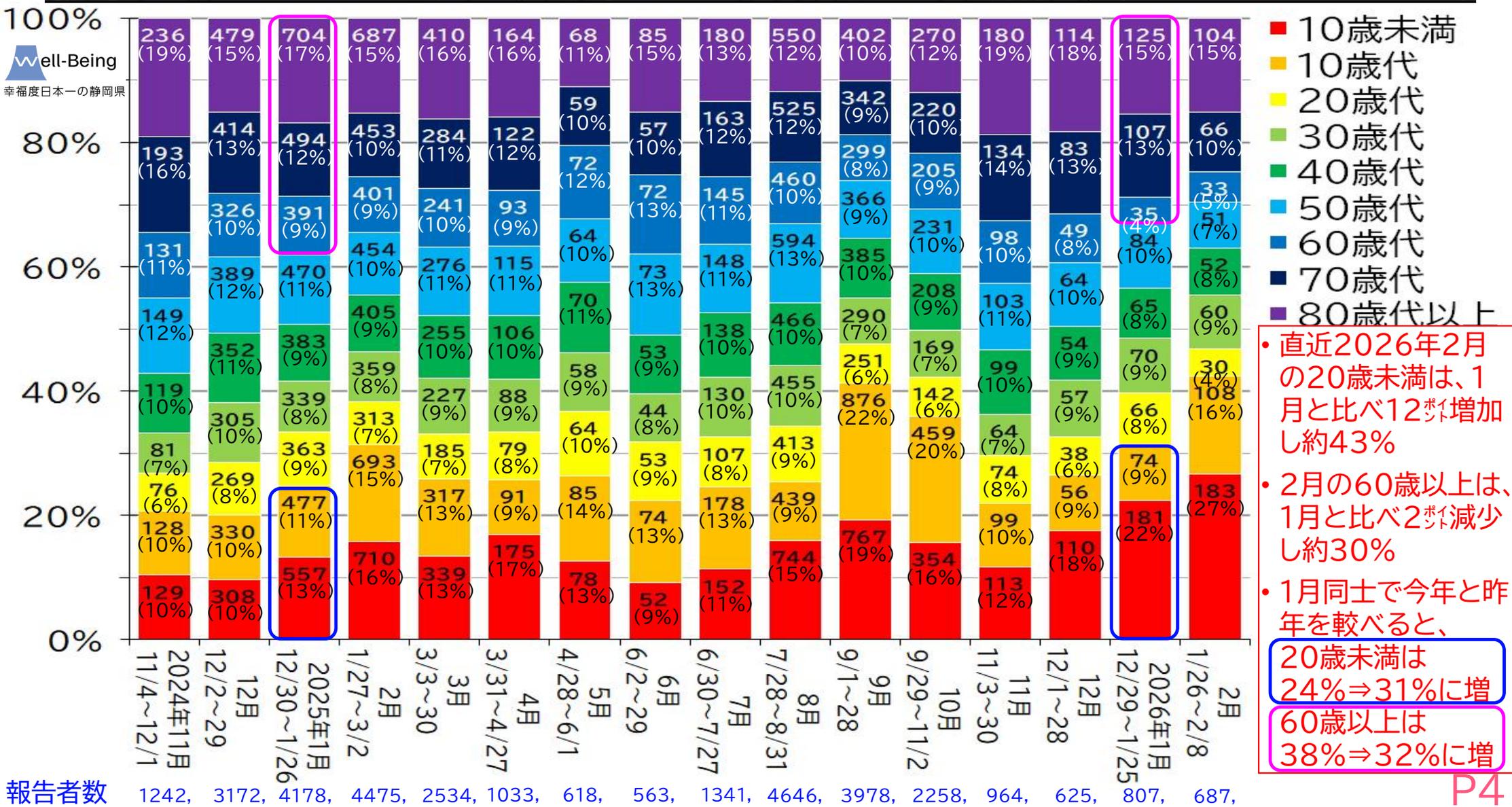
[政令市を含む県全体]



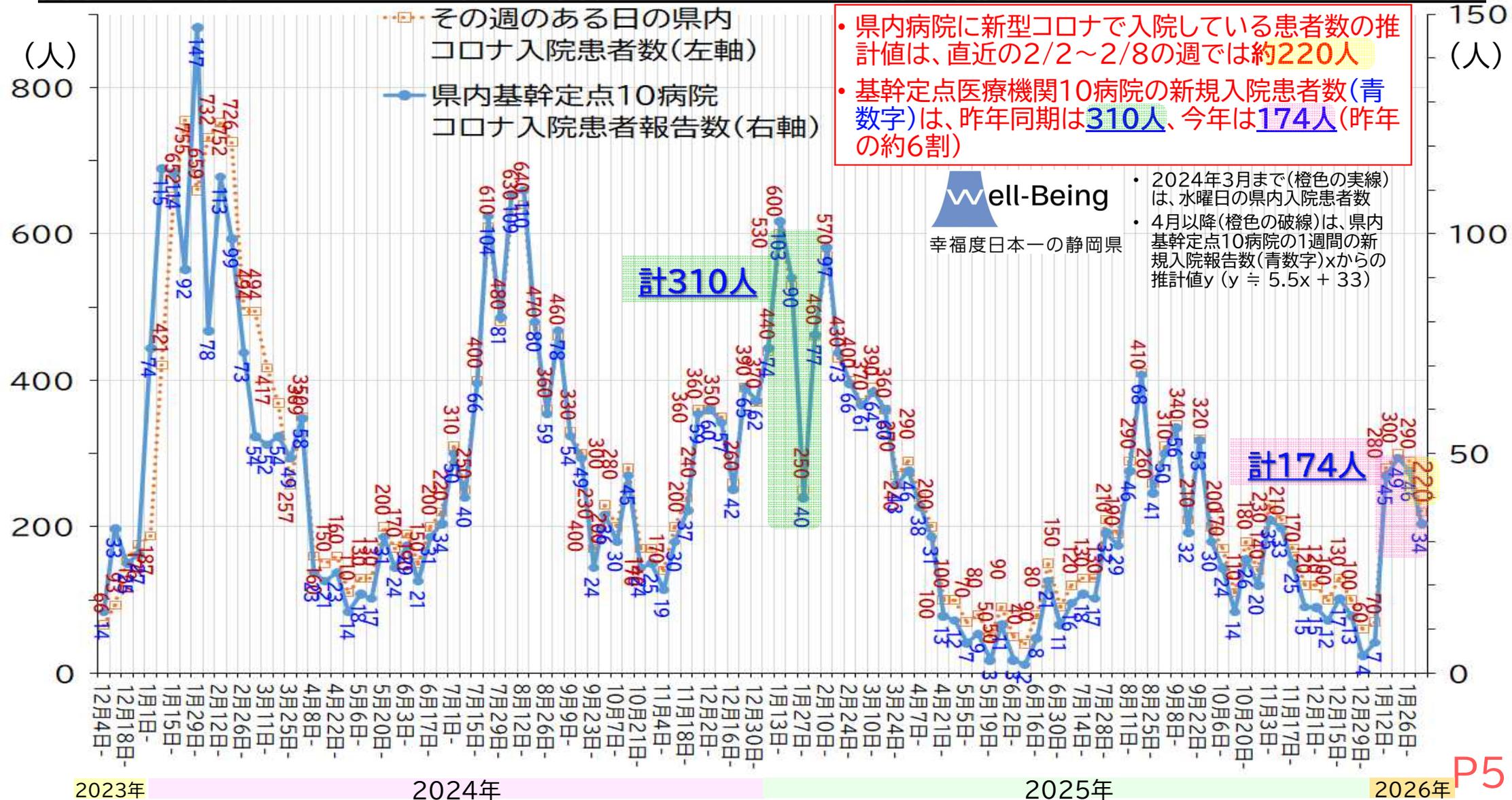
- WHOや国立感染症研究所が、中和抗体からの逃避や感染者数増加の優位性が示唆されなどで、動向を注視する必要があるとしたオミクロン株の系統等の検出状況を示す
- 直近(2025年9月)では県全体で、解析した4検体すべてが**NB.1.8.1**及びその子孫系統だった
- ゲノム解析結果は各月で示しているが、2024年度までは結果判明月で、25年度からは検体採取月で示す

ゲノム解析数 25, 28, 29, 140, 228, 206, 80, 13, 20, 75, 80, 63, 72, 19, 40, 90, 116, 107, 27, 31, 21, 44, 28, 24, 11, 5, 4, 7, 16, 4

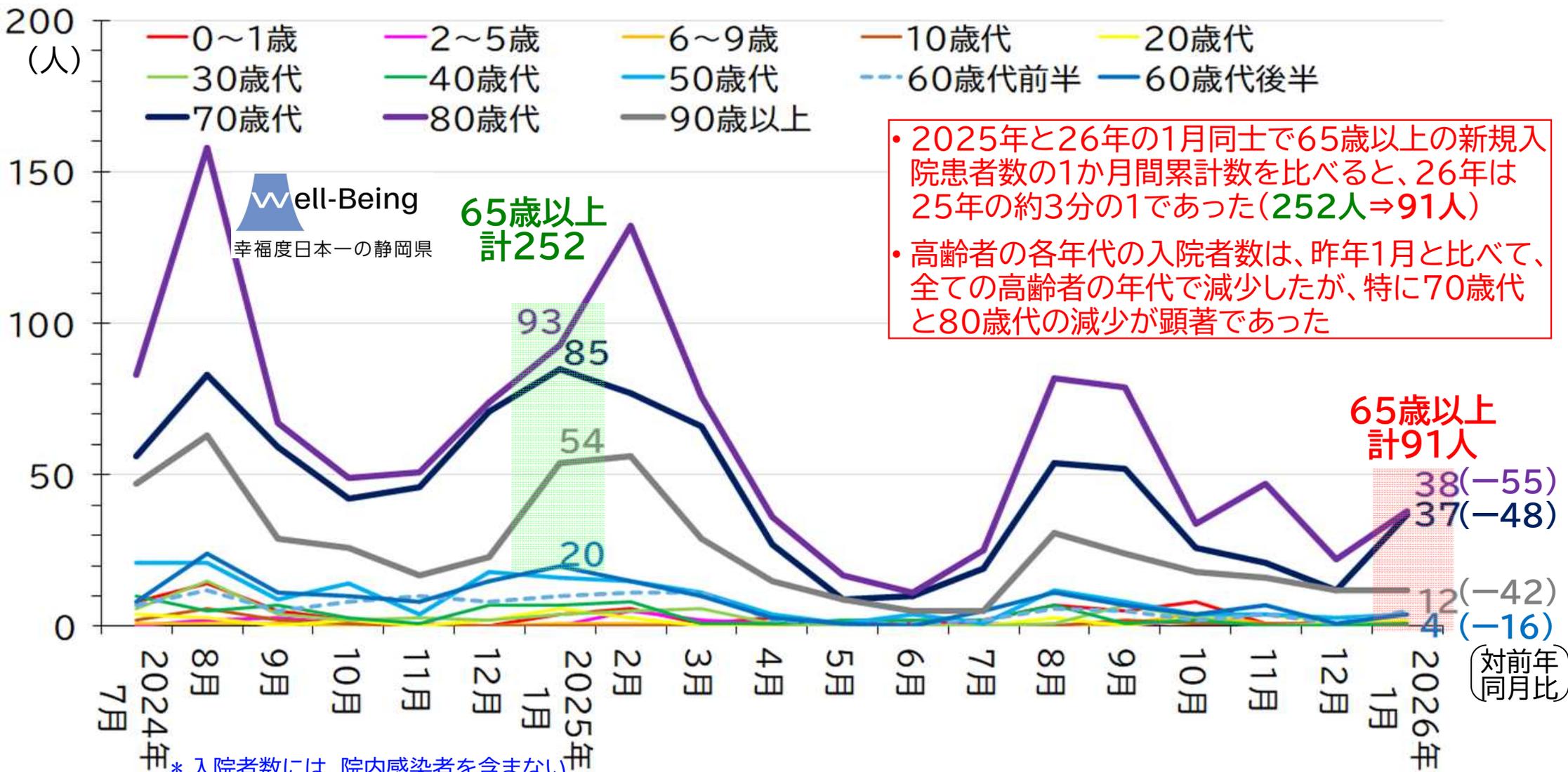
静岡県 新型コロナ 定点医療機関からの報告者数の年代別推移(2024.9/30~2026.2/8)



静岡県 新型コロナ入院患者数 おおまかな推計値 (2024.4/1~2026.2/8)



静岡県 基幹定点医療機関(10病院)のコロナ年代別新規入院患者数の推移(2024.7月~2026.1月)

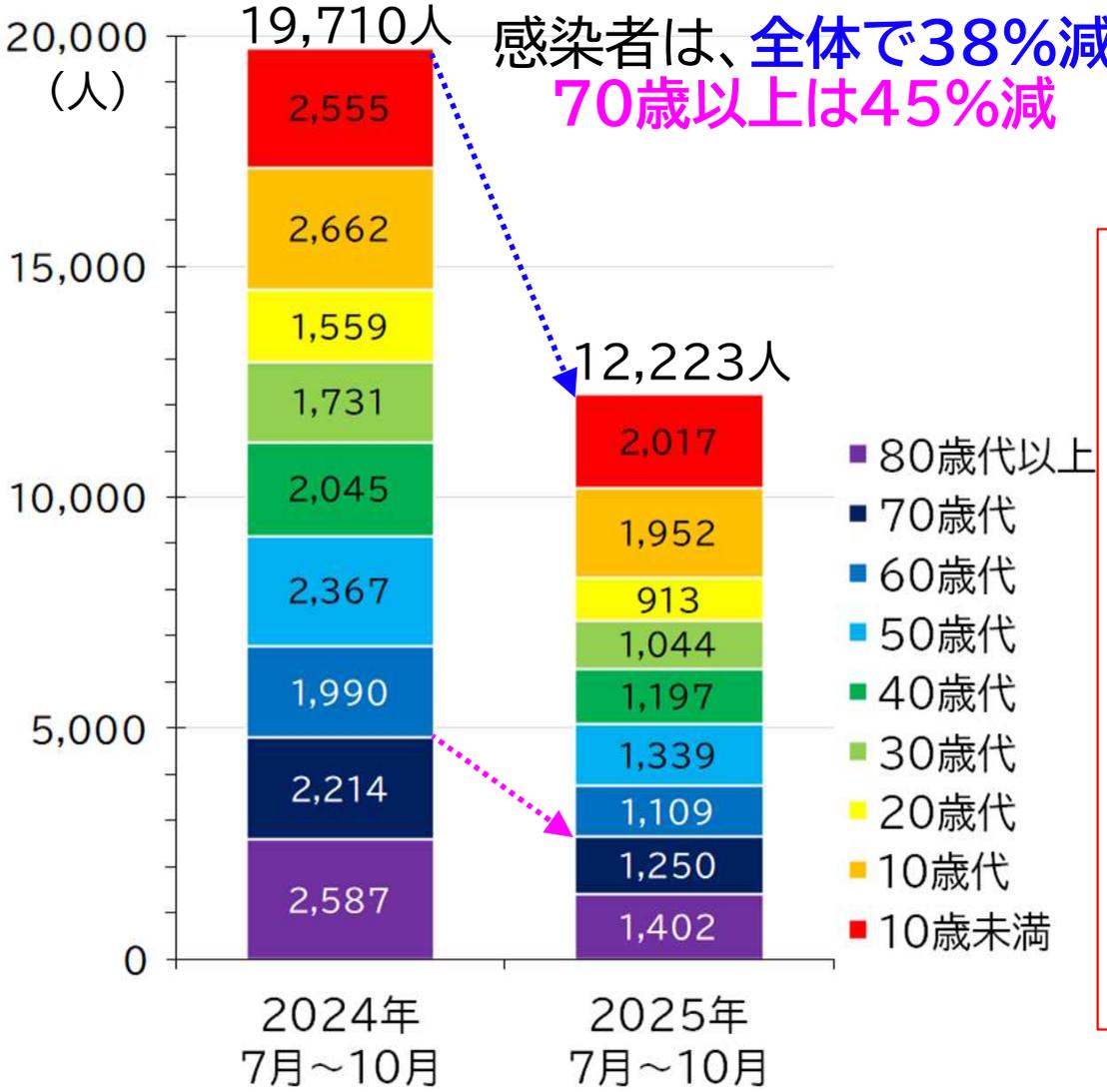


全年代の入院者数* 253, 407, 203, 135, 166, 220, 300, 334, 213, 95, 42, 34, 62, 214, 191, 111, 106, 54, 105, 12(-42), 4(-16)

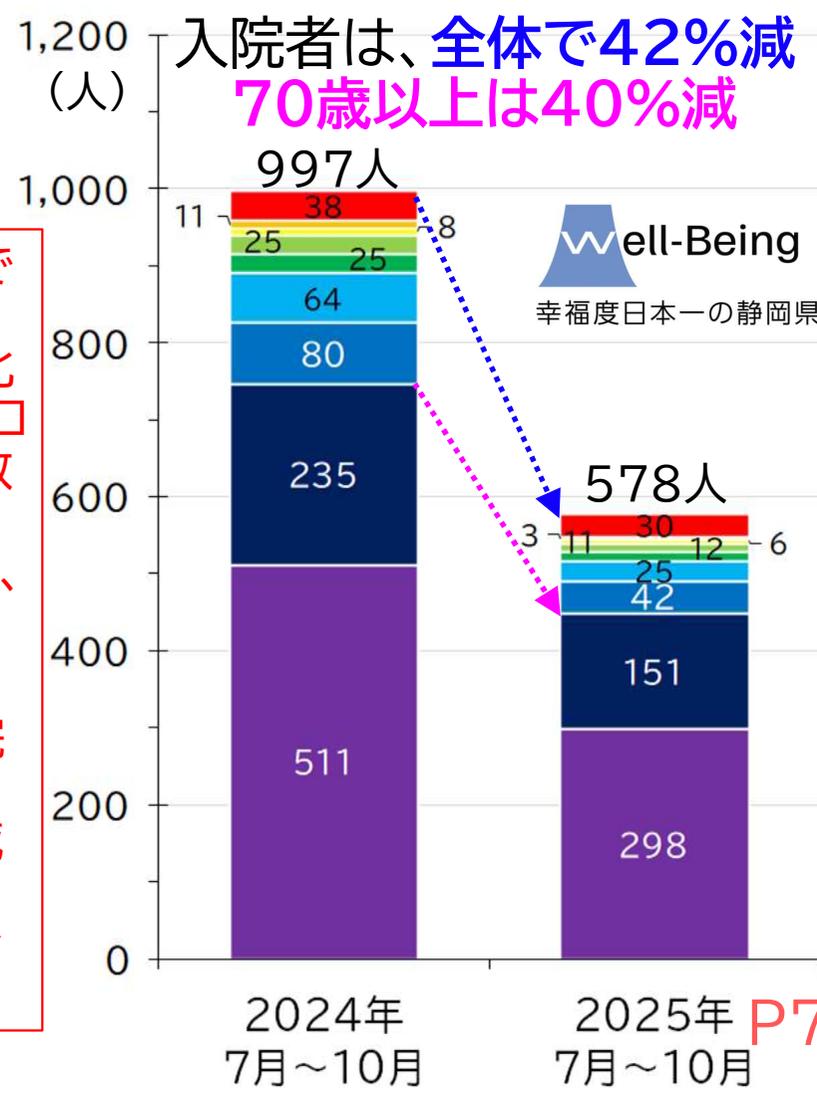
対前年同月比

静岡県 新型コロナ 定点医療機関の2025年夏と2024年夏の感染者数・入院者数の比較

【県内139定点医療機関の感染者総数】



【県内10基幹定点医療機関の入院者総数】

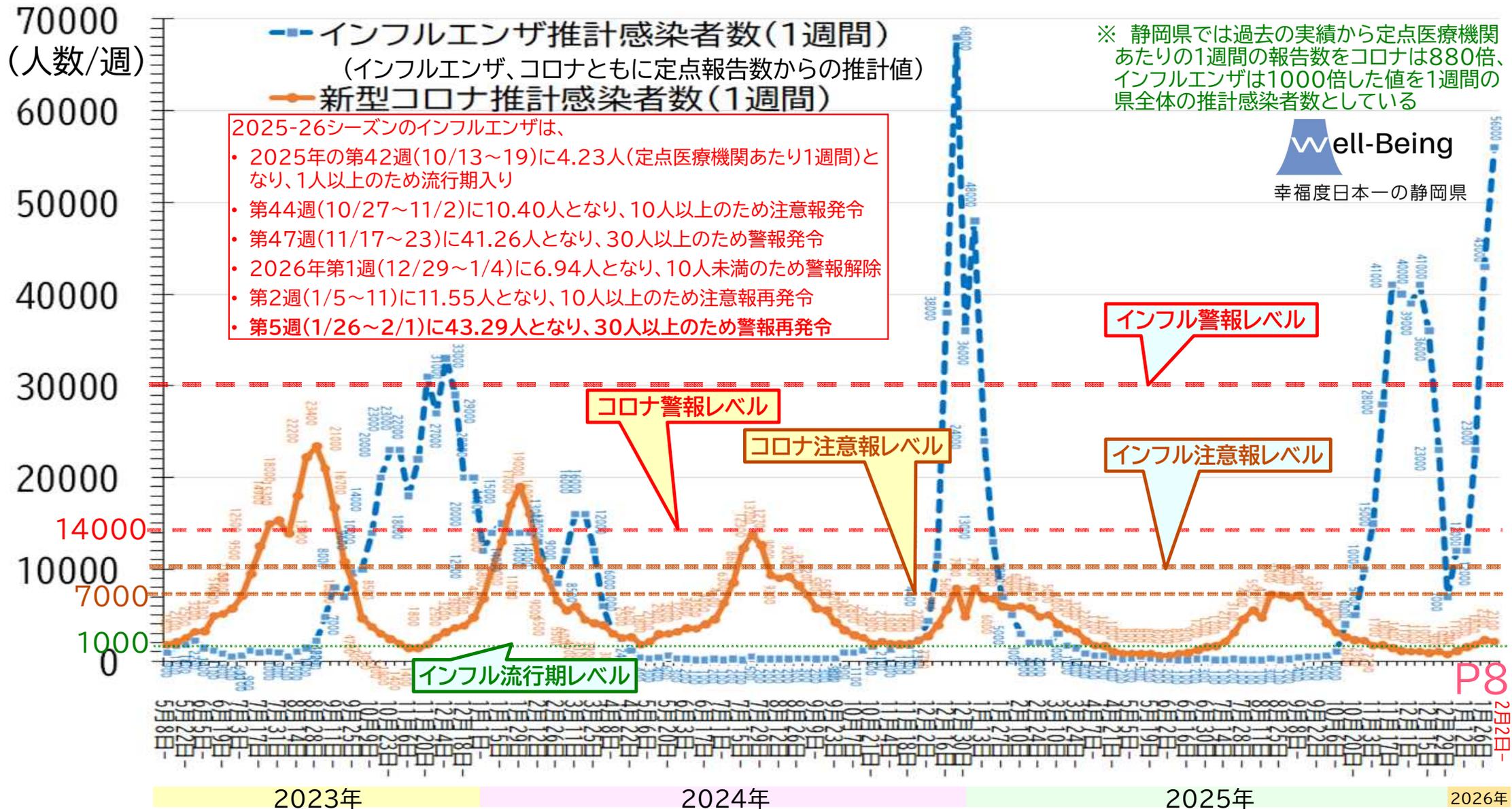


夏の流行期で2025年を2024年と比較すると、コロナの感染者数は、全体では約4割減少し、高齢者も約4割減少した

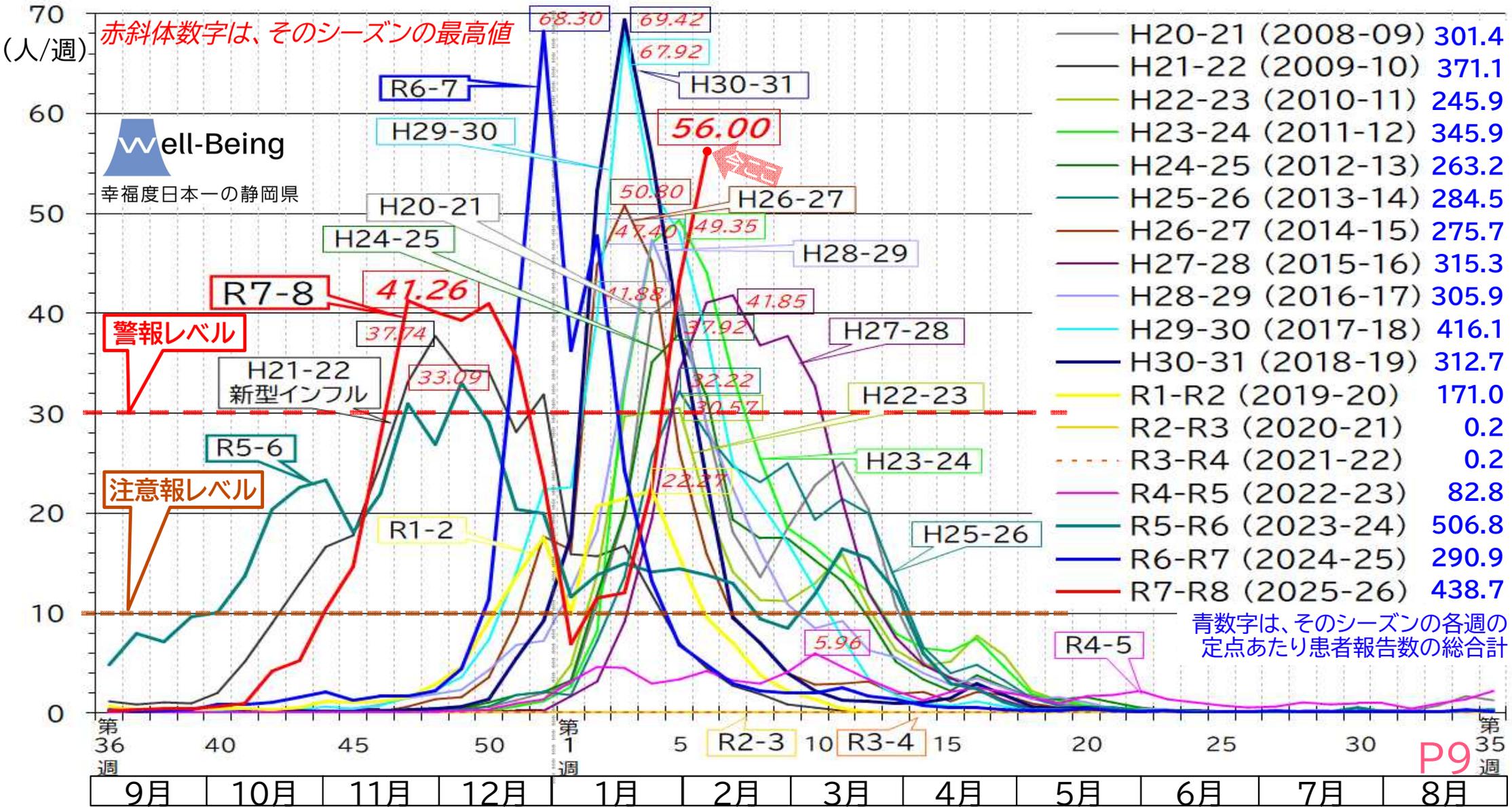
コロナの入院者数も、全体では約4割減少し、高齢者も約4割減少した



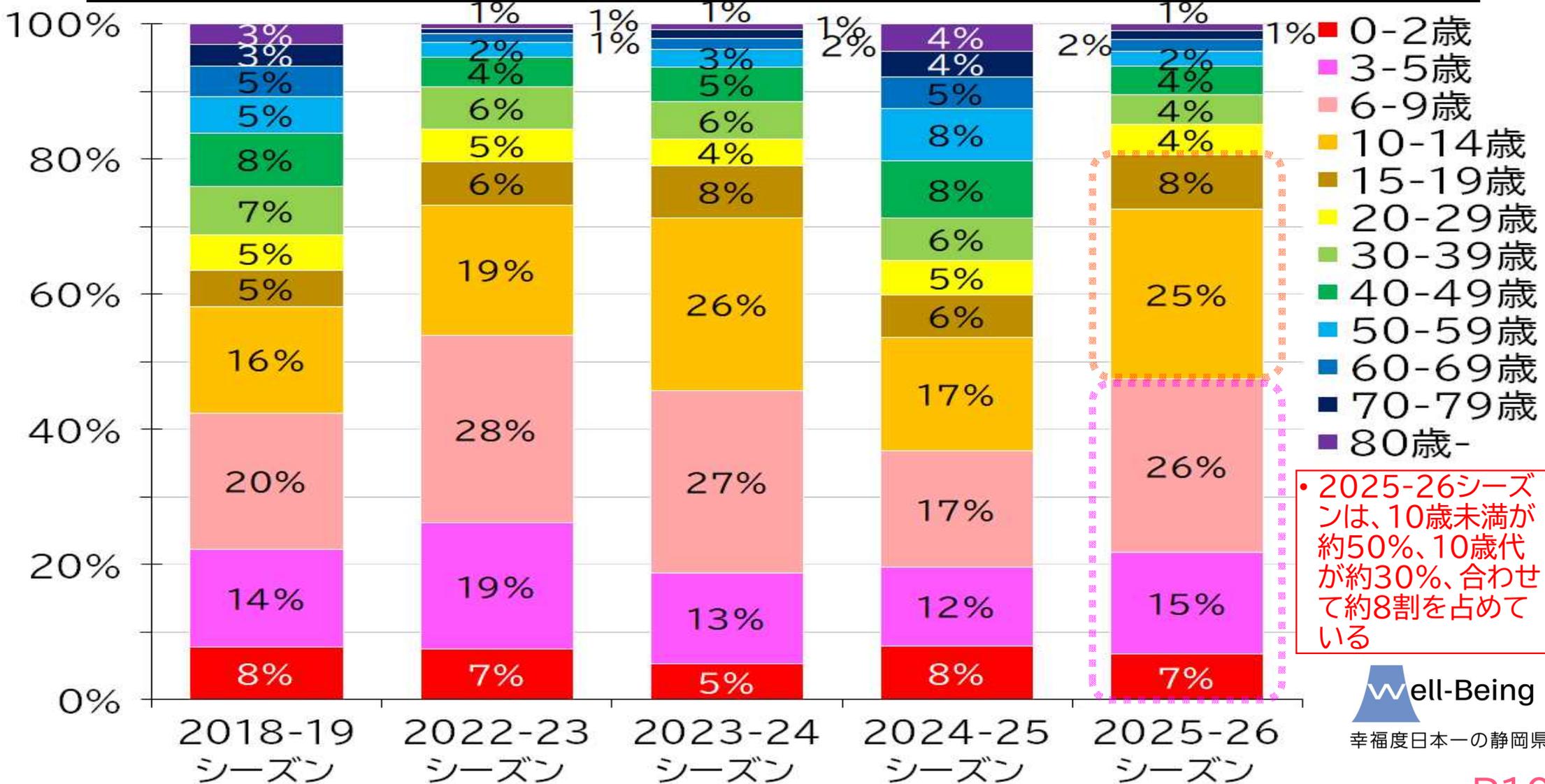
静岡県 新型コロナとインフルエンザの流行の状況 (2023.5/8~2026.2/8)



静岡県 インフルエンザ 定点医療機関からの患者報告数 今季と過去17季の比較



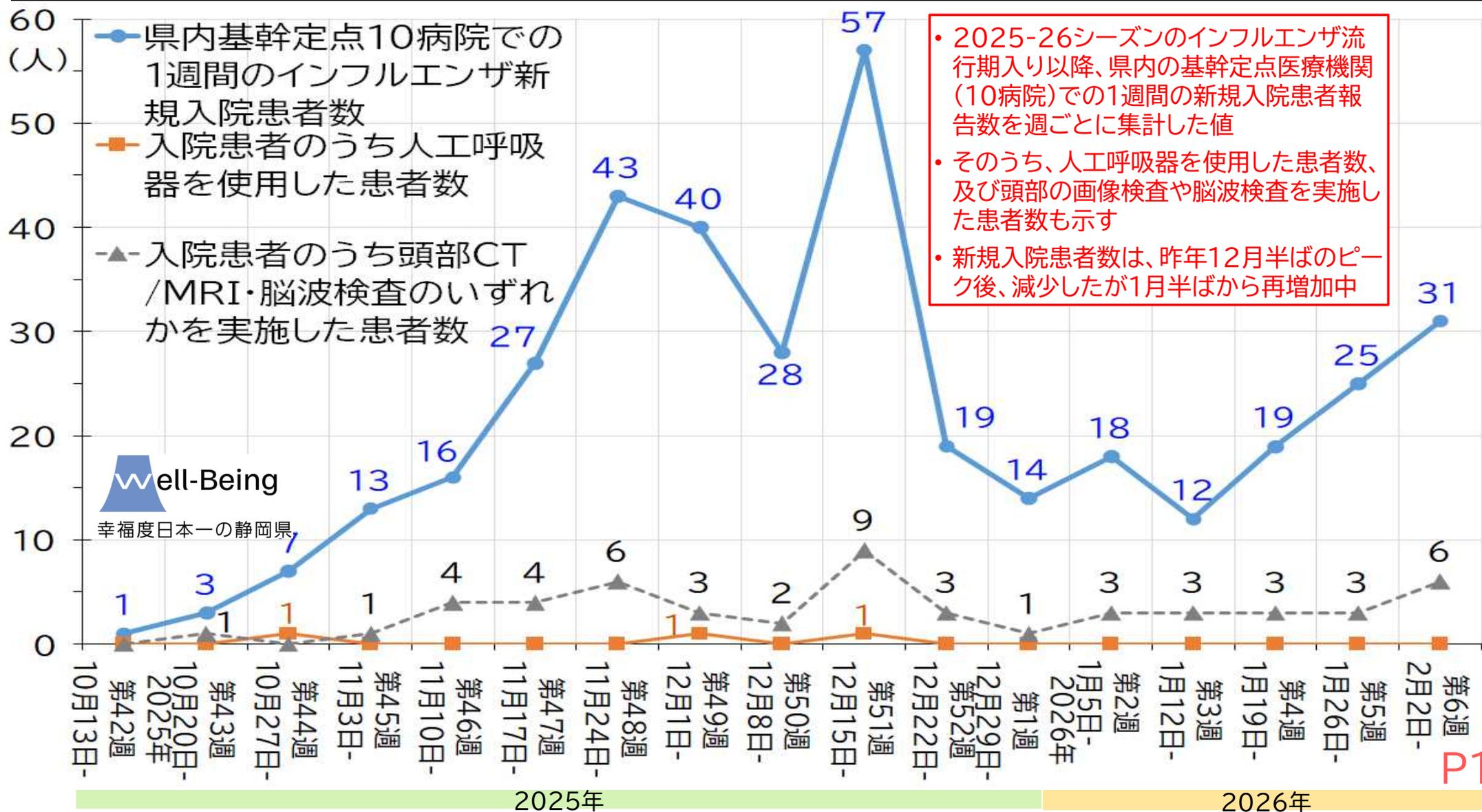
静岡県 インフルエンザ 近年5シーズンの報告患者の年齢分布



• 2025-26シーズンは、10歳未満が約50%、10歳代が約30%、合わせて約8割を占めている



静岡県 インフルエンザ 基幹定点病院での新規入院患者数の推移(2025. 10/13～2026. 2/8)

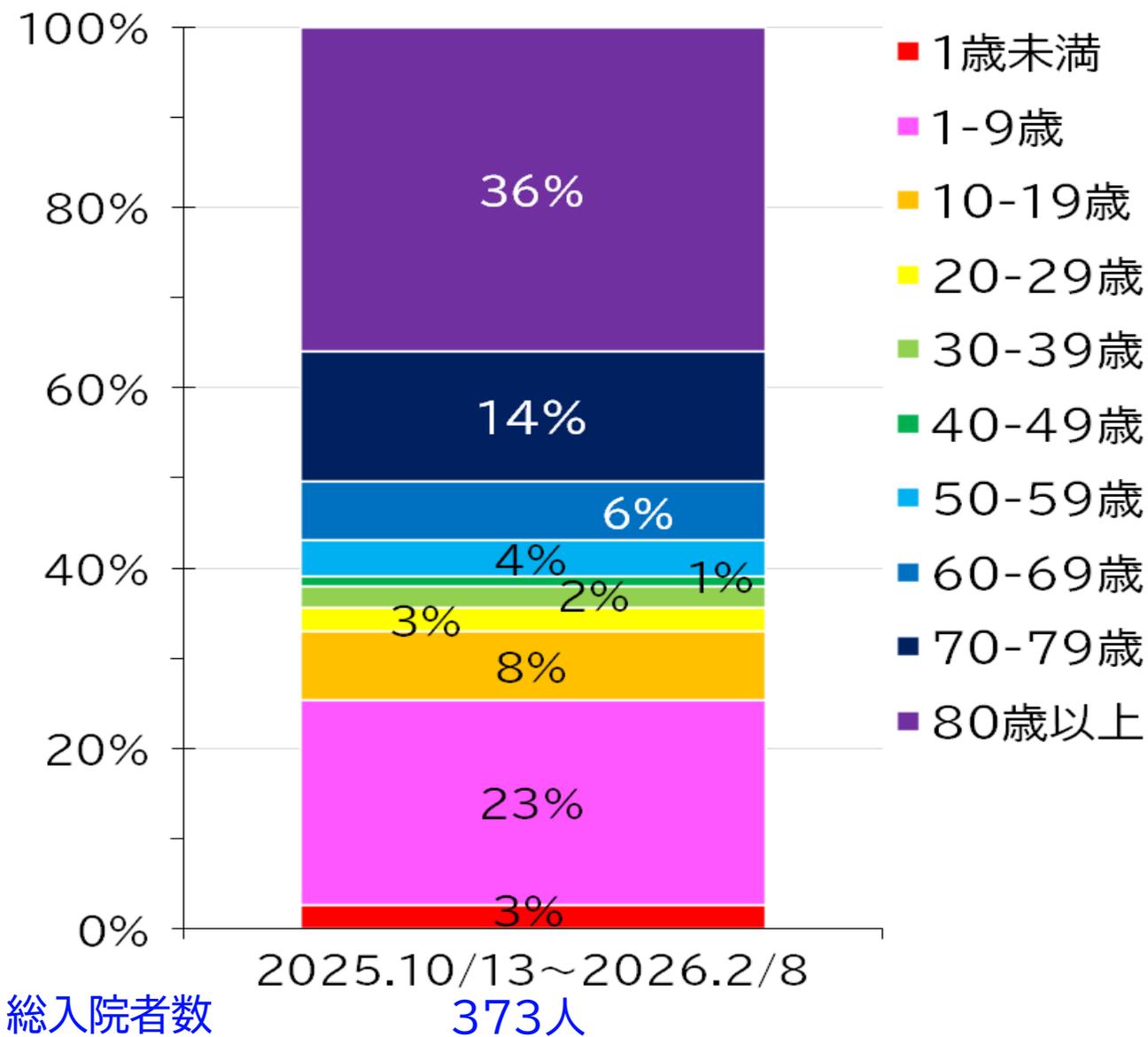


・ 2025-26シーズンのインフルエンザ流行期入り以降、県内の基幹定点医療機関(10病院)での1週間の新規入院患者報告数を週ごとに集計した値

・ そのうち、人工呼吸器を使用した患者数、及び頭部の画像検査や脳波検査を実施した患者数も示す

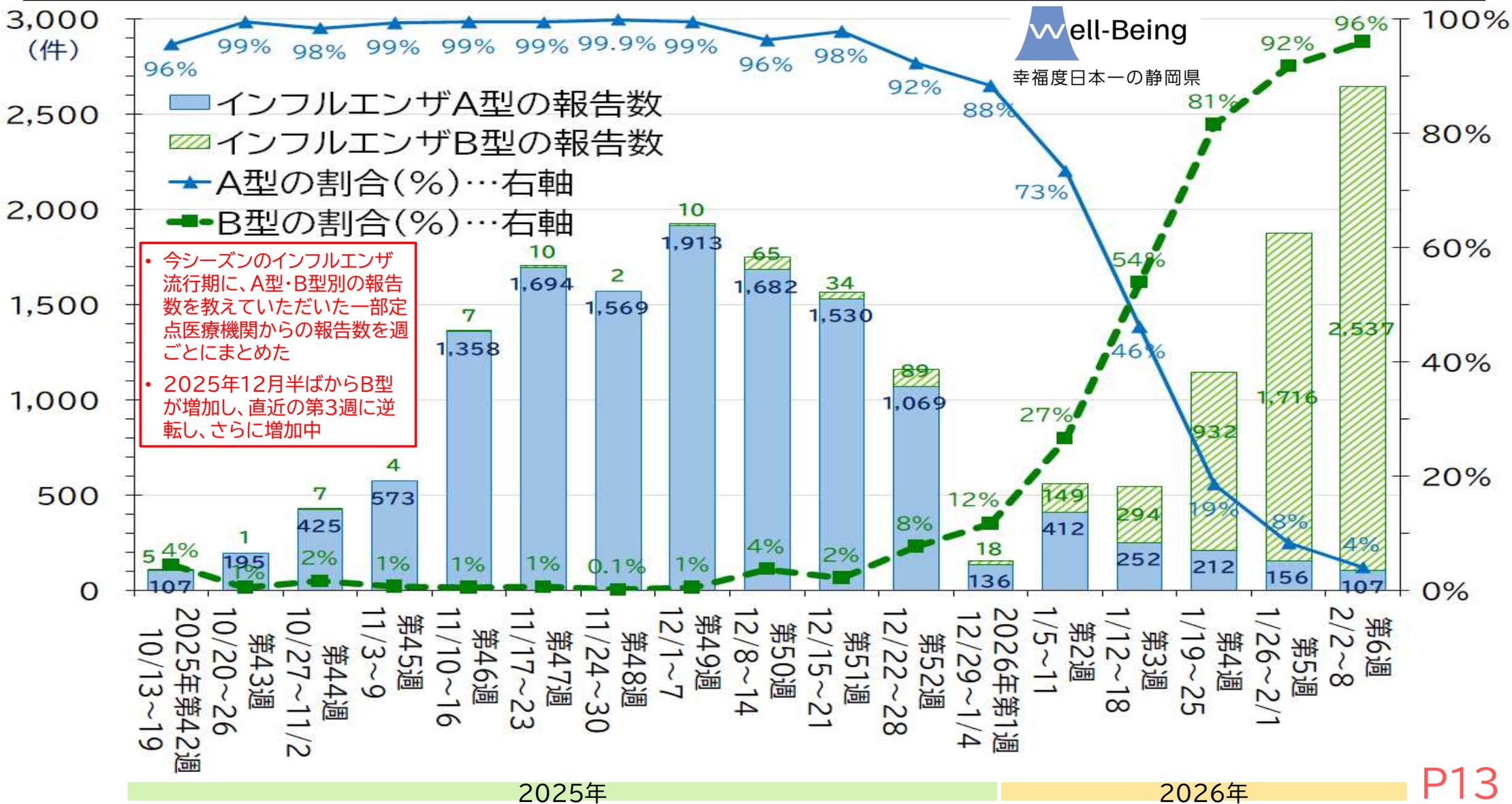
・ 新規入院患者数は、昨年12月半ばのピーク後、減少したが1月半ばから再増加中

静岡県 インフルエンザ 基幹定点病院での新規入院患者年齢分布(2025.10/13~2026.2/8)



- 今シーズン(2025-26シーズン)のインフルエンザ流行期における、県内の基幹定点医療機関(10病院)での1週間新規入院患者を累計した集団の年齢分布
- 80歳以上が最多で全体の4割弱を占め、次いで1-9歳が多く2割強
- 70歳以上が、約半数を占めている
- 20歳未満は、約3分の1を占めている

静岡県 インフルエンザ 定点医療機関(一部)のA型とB型の状況(2025.10/13~2026.2/8)



静岡県内衛生研究所(県, 静岡市, 浜松市) インフルエンザウイルス型別検出の状況(2023.10/2~2026.2/8)

2023-24シーズン

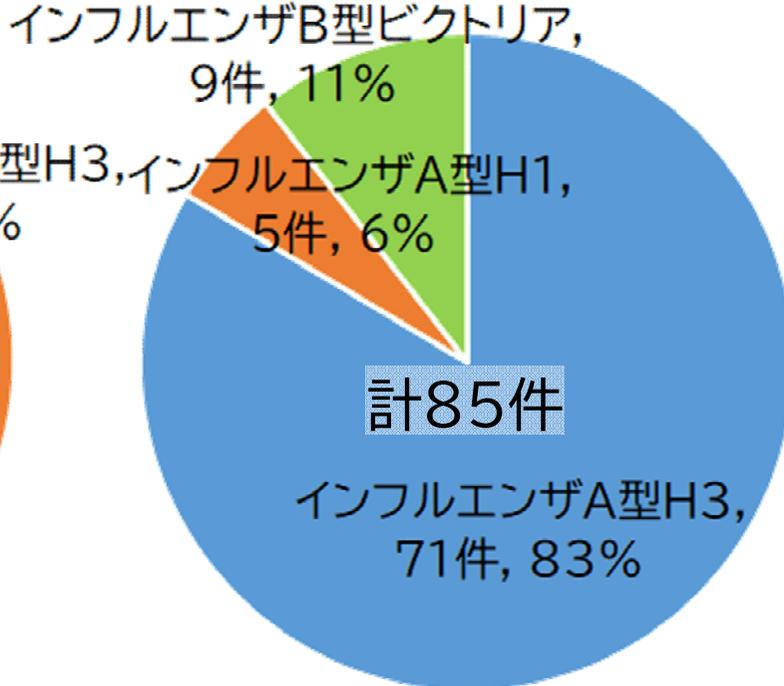
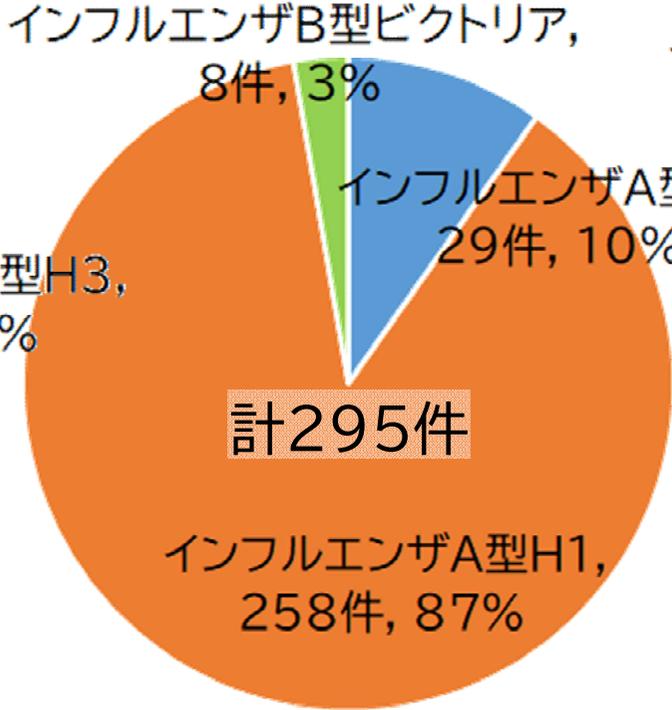
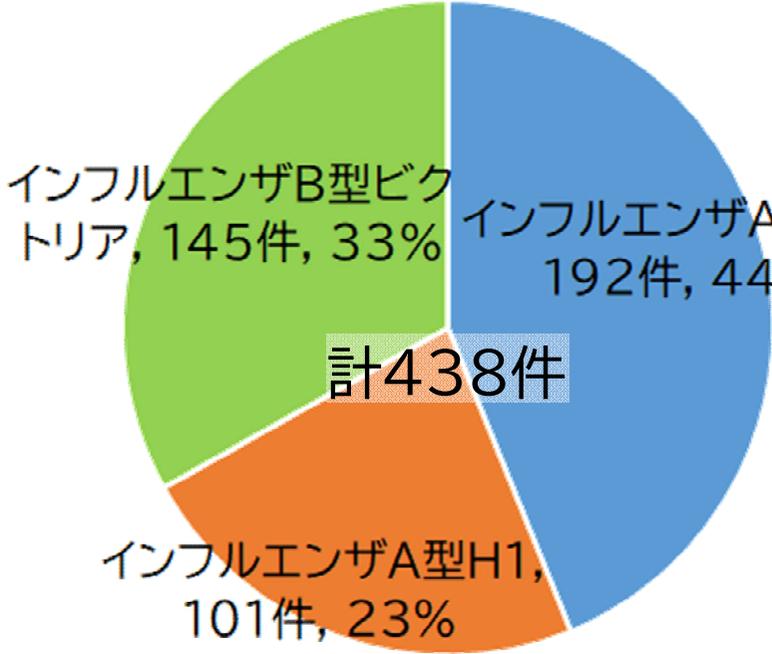
2023年 第40~52週,
+ 2024年 第1~22週
(2023.10/2~2024.6/2)

2024-25シーズン

2024年 第36~52週,
+ 2025年 第1~14週
(2024.9/2~2025.4/6)

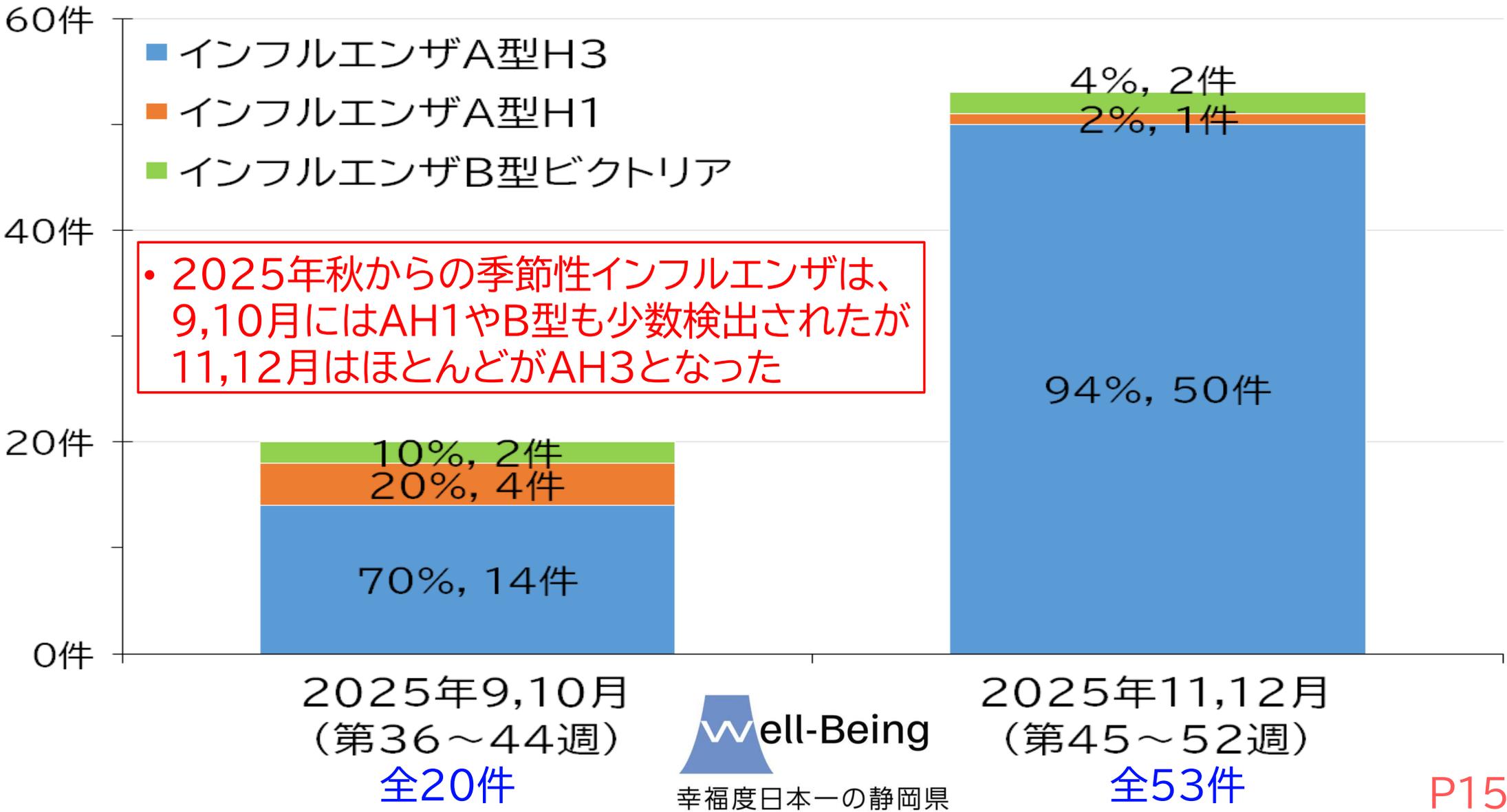
2025-26シーズン

2025年 第36~52週,
+ 2026年 第1~6週
(2025.9/1~2026.2/8)



• 今シーズンの季節性インフルエンザは、昨シーズンとは異なり、インフルエンザA型H3が主体で流行が始まり、これまでの累積ではA型H3が約9割を占めている

静岡県内衛生研究所(県, 静岡市, 浜松市) 2025-26シーズン インフルエンザウイルス型別検出の状況



県内インフルエンザ**警報**再発令

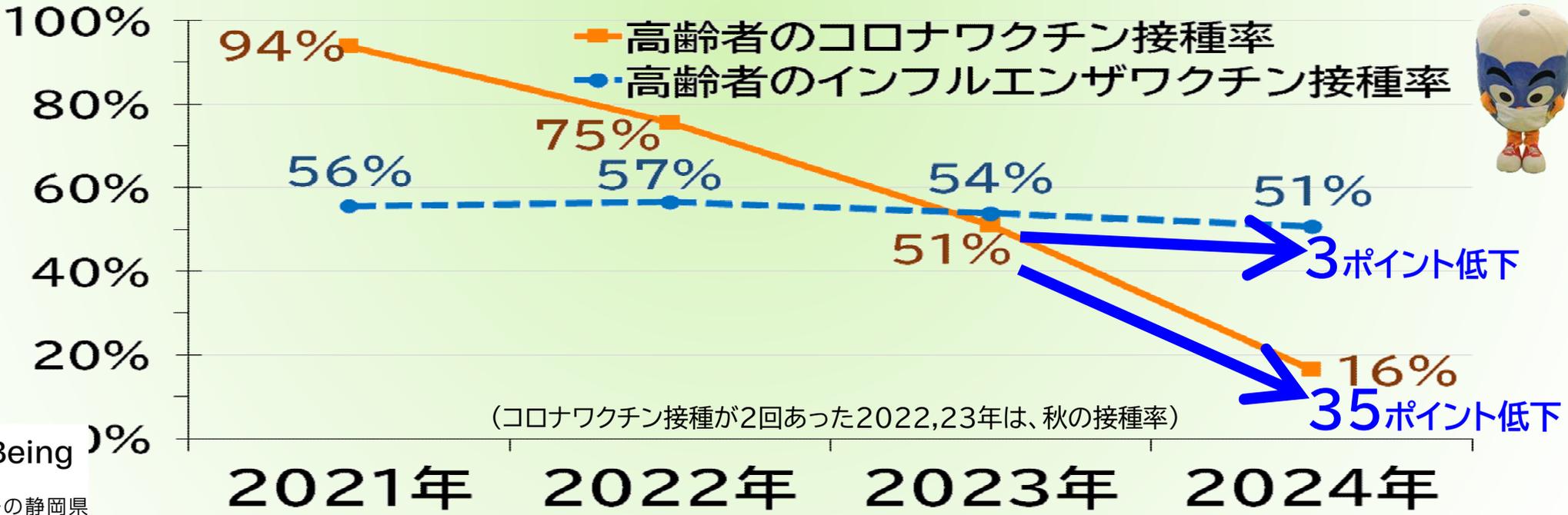


あらためて4つのお願い



1. **医療機関**や**高齢者施設**の**受診**や**面会**時は、**できるだけマスク着用**をお願いします！
2. **体調**に少しでも**違和感**（だるさ、寒気）がある時は、**人と会う時にマスク着用**を！
3. **急に症状**（**熱・頭痛・のど痛**）が出た時は、**学校や仕事をすぐに休んで療養**を！
4. **人が集まる所**では、**換気**、**手洗い**と**咳エチケット**（**咳くしゃみ時は口鼻をおおう**）を！

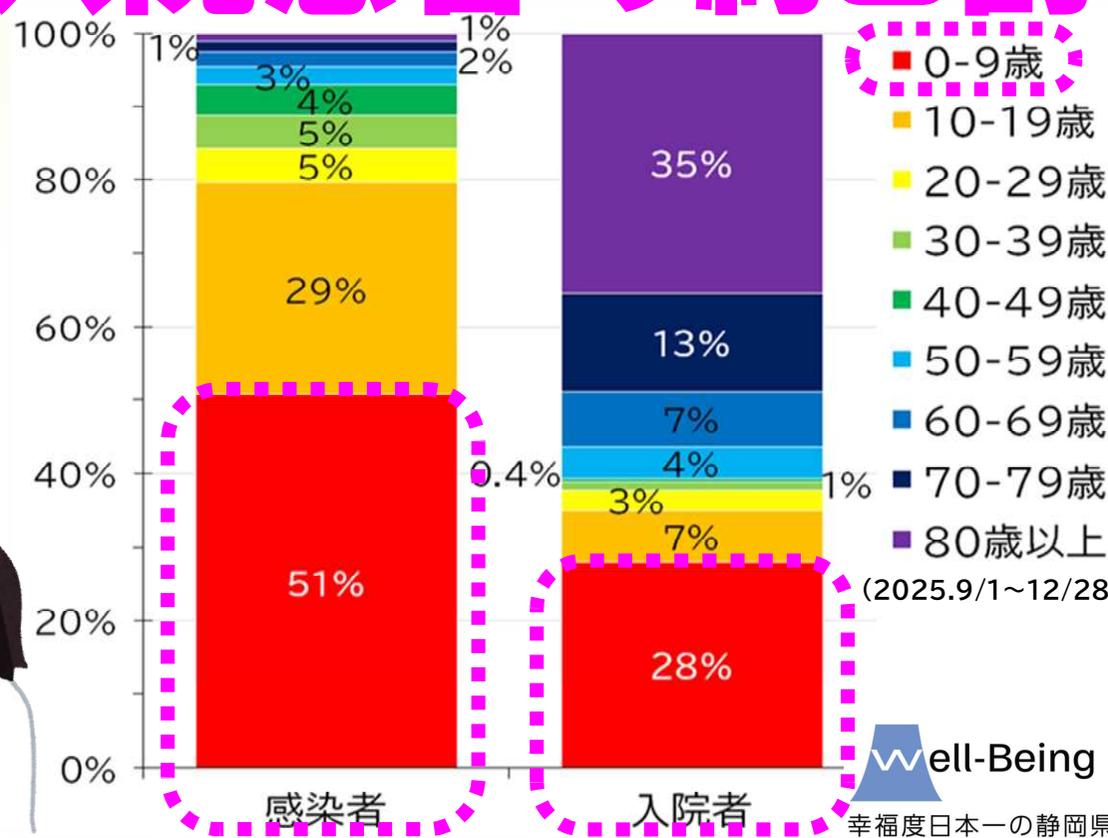
県内は昨秋，コロナワクチンもインフルエンザワクチンも**高齢者の接種率が低下**しました
 昨年末～今年正月のような，**インフルエンザとコロナの同時流行**による医療の負担を減らすためにも，**両ワクチンの接種をご検討**ください





今シーズンのインフルエンザは静岡県では**10歳未満の子どもが感染者の約5割、入院患者の約3割**を占めています！

生後6か月以上の**子どものインフルエンザワクチン**の接種をぜひご検討ください



急病センターや**当番医**を受診



しよつか迷ったら...



救急車を呼ぼうか迷ったら...

15歳以上は **#7 1 1 9**

15歳未満は **#8 0 0 0**



で電話相談を!

破傷風トキソイドの一部出荷停止について

令和7年7月上旬から、破傷風トキソイドの一部製品について供給が不安定となっており、医療機関において、破傷風トキソイドの入手が困難となっている可能性があります。

破傷風トキソイドは、破傷風菌の毒素を中和し、重症化を防ぐことができるため、怪我をして、傷が深い場合や、汚染されている場合等に、破傷風の発症リスクを減らすために使われることがあります。

県民の皆様におかれましては、引き続き、怪我に気を付けていただき、安全に過ごしていただきますようお願い致します。

破傷風とは

土壌や動物の糞便などに存在する破傷風菌が原因で、菌が産生する毒素により、筋肉の麻痺やけいれんを起こし、死亡することもあります。多くは、動物に咬まれた傷や、土や砂で汚れた深い傷から破傷風菌が入って感染します。人から人への感染はありません。潜伏期間は3～21日で平均10日です。国内で年間100人程度の感染者が確認されており、2026年は、第6週(～2月8日)までに全国で11人、本県は0人です。
(2025年 全国94人、本県2人)

感染症発生動向調査における特記事項欄コメント

第 6 週 令和8年2月2日 ~ 令和8年2月8日

今週の特記事項欄コメントの報告数上位

1	インフルエンザB型	2,537名
2	インフルエンザA型	107名
3	感染性胃腸炎	22名 (ノロウイルスを含む)

保健所	医療機関名	感染症名	報告数	備考
賀茂	池田医院	インフルエンザB型	3	
賀茂	かわづクリニック	インフルエンザA型	6	
賀茂	かわづクリニック	インフルエンザB型	42	
賀茂	かわづクリニック	百日咳	1	11歳、女
熱海	高野医院	急性呼吸器感染症	73	
熱海	高野医院	インフルエンザB型	21	
熱海	高野医院	新型コロナウイルス感染症	3	
熱海	伊東市民病院	インフルエンザB型	2	
熱海	むらかみ小児科クリニック	インフルエンザA型	1	
熱海	むらかみ小児科クリニック	インフルエンザB型	17	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	インフルエンザA型	6	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	インフルエンザB型	292	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	新型コロナウイルス感染症	2	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	マイコプラズマ肺炎	1	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	ノロウイルス	1	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	咽頭アデノ	2	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	ヒトメタニューモ	3	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	腸管アデノ	2	
東部	窪田医院	インフルエンザB型	16	
東部	よざ小児科医院	インフルエンザB型	67	
東部	よざ小児科医院	咽頭アデノ	1	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	伝染性紅斑	2	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	突発性発しん	1	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	インフルエンザ	259	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	新型コロナウイルス感染症	5	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	マイコプラズマ肺炎	1	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	ノロウイルス	1	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	溶連菌感染症	1	
御殿場	公益社団法人有隣厚生会 富士病院	インフルエンザA型	8	
御殿場	公益社団法人有隣厚生会 富士病院	インフルエンザB型	100	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	感染性胃腸炎	18	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	インフルエンザA型	9	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	インフルエンザB型	341	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	新型コロナウイルス感染症	11	
御殿場	安田内科小児科医院	インフルエンザA型	9	男5人、女4人
御殿場	安田内科小児科医院	インフルエンザB型	267	男145人、女122人
御殿場	安田内科小児科医院	マイコプラズマ肺炎	2	2歳男1名、15歳男1名
御殿場	安田内科小児科医院	ノロウイルス	2	2歳女1名、74歳男1名
御殿場	齊藤医院	インフルエンザB型	21	
御殿場	お八幡医院	インフルエンザA型	2	
御殿場	お八幡医院	インフルエンザB型	36	
御殿場	なかがわ医院	インフルエンザA型	1	
御殿場	なかがわ医院	インフルエンザB型	32	
富士	医療法人社団富岳会 小川小児科内科医院	インフルエンザA型	13	
富士	医療法人社団富岳会 小川小児科内科医院	インフルエンザB型	236	
富士	一般財団法人恵愛会 聖隷富士病院	インフルエンザA型	1	
富士	一般財団法人恵愛会 聖隷富士病院	インフルエンザB型	7	
富士	永松医院	インフルエンザA型	1	
富士	永松医院	インフルエンザB型	17	
富士	平野医院	インフルエンザB型	8	
静岡市	原小児科医院	インフルエンザA型	0	
静岡市	原小児科医院	インフルエンザB型	32	
静岡市	かどたこどもクリニック	インフルエンザA型	2	
静岡市	かどたこどもクリニック	インフルエンザB型	69	
静岡市	ないとう内科・循環器内科	インフルエンザA型	1	
静岡市	ないとう内科・循環器内科	インフルエンザB型	6	
浜松市	浜松医療センター	アデノウイルス	1	
浜松市	クリニック・パパ	インフルエンザA型	5	

保健所	医療機関名	感染症名	報告数	備考
浜松市	クリニック・パパ	インフルエンザB型	164	
浜松市	げんきこどもクリニック	インフルエンザB型	76	
浜松市	いぬかい小児科	インフルエンザA型	4	
浜松市	いぬかい小児科	インフルエンザB型	91	
浜松市	幸田子供クリニック	インフルエンザA型	25	
浜松市	幸田子供クリニック	インフルエンザB型	83	
浜松市	天竜こども医院	インフルエンザA型	4	
浜松市	天竜こども医院	インフルエンザB型	179	
浜松市	縣医院	インフルエンザA型	2	
浜松市	縣医院	インフルエンザB型	81	
浜松市	おおば小児科	インフルエンザA型	2	
浜松市	おおば小児科	インフルエンザB型	149	
浜松市	くまがいクリニック	インフルエンザA型	3	
浜松市	くまがいクリニック	インフルエンザB型	20	
浜松市	大竹内科医院	インフルエンザA型	2	
浜松市	大竹内科医院	インフルエンザB型	49	
浜松市	医療法人社団健勝会 鈴木診療院	インフルエンザB型	6	
浜松市	医療法人社団健勝会 鈴木診療院	インフルエンザB型	7	

静岡県の感染症週報はホームページでも御覧いただけます。
 (「静岡県 感染症週報」で検索)

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html>



第6週

	静岡県							全国				
	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	今週	年累計	第3週	第4週	第5週	今週	年累計
エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
結核	0	4	8	6	6	9	40	208	230	248	252	1346
ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザH5N1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザH7N9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性赤痢	0	0	1	0	0	0	1	2	5	0	0	7
腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	1	1	41	56	25	18	194
腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3
巨型肝炎	0	0	0	0	0	1	1	16	13	16	20	83
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A型肝炎	0	0	0	1	0	0	1	2	2	3	0	11
エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エムボックス	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	4	12
炭癩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オウム病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
キャサスル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コクシジノイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ジカウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
腎臓慢性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
百部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
つつが虫病	0	0	0	0	0	0	0	8	4	3	2	29
デング熱	0	0	0	0	0	0	0	1	3	2	1	13
東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニバウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3
日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボウリス病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペネズエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
強しんチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
レジオネラ症	0	3	1	1	1	1	8	35	28	26	27	207
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	1	2	7	2	9	9	49
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	3	21
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	0	0	1	0	1	0	3	10	17	17	14	112
急性弛緩性麻痺	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	6
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)	0	0	0	0	2	1	3	2	6	11	11	48
クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	3	3	2	1	15
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	3	2	0	1	7	22	34	28	25	182
機天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	1	1	14	17	14	18	91
ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	5
慢性的インフルエンザ菌感染症	0	0	1	0	0	0	1	11	5	8	6	56
慢性的髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	8
慢性的肺炎球菌感染症	1	1	1	0	1	0	6	64	44	42	39	361
水痘(入院例に限る)	0	2	0	1	0	1	4	11	14	13	8	87
先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
梅毒	1	6	6	2	5	5	28	141	161	154	134	1065
播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	0	3	1	3	4	19
破傷風	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	11
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	9
百日咳	2	7	4	7	9	2	36	221	225	188	182	1267
風しん	0	0	0	0	0	0	0	3	5	14	9	32
麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4
新型コロナウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※次週以降に届出の追加や取り下げがあった場合、この表では、前週以前の届出数に反映されません。「今週」と「年累計」は、現時点での正しい届出数です。前週以前の届出数はその後、増減している可能性があります。

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムボックス」に、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」は「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変わりました。

定点把握感染症集計表(届出数)

2026 第 6 週

		静岡県						全国					
		第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	今週	計	第3週	第4週	第5週	今週	計
小児科	RSウイルス感染症	8	24	24	29	20	34	139	1,430	1,803	1,771	1,741	6,745
	咽頭結膜熱	6	15	8	15	12	16	72	504	739	669	709	2,621
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	117	124	140	147	97	657	5,115	6,622	6,507	6,708	24,952
	感染性胃腸炎	134	399	414	477	536	510	2,470	15,412	19,741	21,757	21,866	78,776
	水痘	14	24	16	19	11	13	97	715	960	712	770	3,157
	手足口病	1	1	1	4	4	2	13	100	149	139	136	524
	伝染性紅斑	2	18	19	36	23	20	118	606	597	545	428	2,176
	突発性発しん	4	24	22	14	24	15	103	554	559	557	482	2,152
	ヘルパンギーナ		1			1		2	45	37	34	30	146
	流行性耳下腺炎	2	1		2	1	3	9	54	70	69	72	265
小・内科	インフルエンザ	965	1,605	1,671	3,160	6,017	7,784	21,202	43,027	63,326	114,291	164,744	385,388
	新型コロナウイルス感染症	108	179	238	282	358	329	1,494	5,833	7,573	9,480	10,286	33,172
眼科	急性出血性結膜炎								11	8	1	5	25
	流行性角結膜炎		1	1		5	5	12	303	309	277	304	1,193
基幹	細菌性髄膜炎	1						1	5	9	7	5	26
	無菌性髄膜炎				1			1	12	15	11	12	50
	マイコプラズマ肺炎	1	5	4	3	1	3	17	245	180	146	158	729
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								4	6	8	6	24
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								17	14	18	28	77

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

定点把握感染症集計表(定点当り患者数)

2026 第 6 週

		静岡県					全国				
		第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	今週	第3週	第4週	第5週	今週
小児科	RSウイルス感染症	0.09	0.27	0.27	0.33	0.22	0.38	0.62	0.78	0.77	0.75
	咽頭結膜熱	0.07	0.17	0.09	0.17	0.13	0.18	0.22	0.32	0.29	0.31
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.36	1.31	1.39	1.57	1.65	1.09	2.22	2.87	2.82	2.91
	感染性胃腸炎	1.51	4.48	4.65	5.36	6.02	5.73	6.68	8.55	9.42	9.48
	水痘	0.16	0.27	0.18	0.21	0.12	0.15	0.31	0.42	0.31	0.33
	手足口病	0.01	0.01	0.01	0.04	0.04	0.02	0.04	0.06	0.06	0.06
	伝染性紅斑	0.02	0.20	0.21	0.40	0.26	0.22	0.26	0.26	0.24	0.19
	突発性発しん	0.04	0.27	0.25	0.16	0.27	0.17	0.24	0.24	0.24	0.21
	ヘルパンギーナ		0.01			0.01		0.02	0.02	0.01	0.01
	流行性耳下腺炎	0.02	0.01		0.02	0.01	0.03	0.02	0.03	0.03	0.03
小・内科	インフルエンザ	6.94	11.55	12.02	22.73	43.29	56.00	11.33	16.64	30.03	43.34
	新型コロナウイルス感染症	0.78	1.29	1.71	2.03	2.58	2.37	1.54	1.99	2.49	2.71
眼科	急性出血性結膜炎							0.02	0.01	0.00	0.01
	流行性角結膜炎		0.05	0.05		0.23	0.23	0.44	0.45	0.40	0.44
基幹	細菌性髄膜炎	0.10						0.01	0.02	0.01	0.01
	無菌性髄膜炎				0.10			0.02	0.03	0.02	0.02
	マイコプラズマ肺炎	0.10	0.50	0.40	0.30	0.10	0.30	0.51	0.37	0.30	0.33
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0.01	0.01	0.02	0.01
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.04	0.03	0.04	0.06

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※定点当り患者数とは1週間の1医療機関当りの平均患者数です。(報告数÷定点医療機関数=定点当り患者数)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

定点把握感染症保健所別集計表

第6週 定点把握感染症 保健所別状況

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	34	0.38	16	0.18	97	1.09	510	5.73	13	0.15
賀茂							6	3.00		
熱海										
東部	2	0.15	1	0.08	15	1.15	50	3.85	1	0.08
御殿場	1	0.25	6	1.50	11	2.75	62	15.50	3	0.75
富士	3	0.33			11	1.22	22	2.44		
静岡市	5	0.31	5	0.31	20	1.25	98	6.13	2	0.13
中部	5	0.45			15	1.36	66	6.00	1	0.09
西部	6	0.50	2	0.17	9	0.75	101	8.42	1	0.08
浜松市	12	0.67	2	0.11	16	0.89	105	5.83	5	0.28

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	2	0.02	20	0.22	15	0.17	0		3	0.03
賀茂										
熱海										
東部	1	0.08	8	0.62	2	0.15				
御殿場					1	0.25				
富士					1	0.11				
静岡市					6	0.38				
中部					1	0.09				
西部			11	0.92						
浜松市	1	0.06	1	0.06	4	0.22			3	0.17

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症				指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	注意報基準値	警報基準値	小児科	内科
総数	7784	56.00	329	2.37	8.0	16.0	89	50
賀茂	102	34.00	2	0.67	13.0	26.0	2	1
熱海	96	16.00	10	1.67	9.0	18.0	4	2
東部	1127	56.35	30	1.50	8.0	16.0	13	7
御殿場	833	138.83	53	8.83	17.0	34.0	4	2
富士	979	65.27	59	3.93	11.0	22.0	9	6
静岡市	958	38.32	76	3.04	6.0	12.0	16	9
中部	975	57.35	24	1.41	8.0	16.0	11	6
西部	1119	58.89	33	1.74	10.0	20.0	12	7
浜松市	1595	56.96	42	1.50	7.0	14.0	18	10

*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類(定点把握対象)に追加されました。

第6週 定点把握感染症 保健所別状況

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		5	0.23	0		0		3	0.30
賀茂										
熱海									1	1.00
東部										
御殿場										
富士										
静岡市			2	0.40					1	0.50
中部			1	0.33						
西部									1	1.00
浜松市			2	0.67						

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

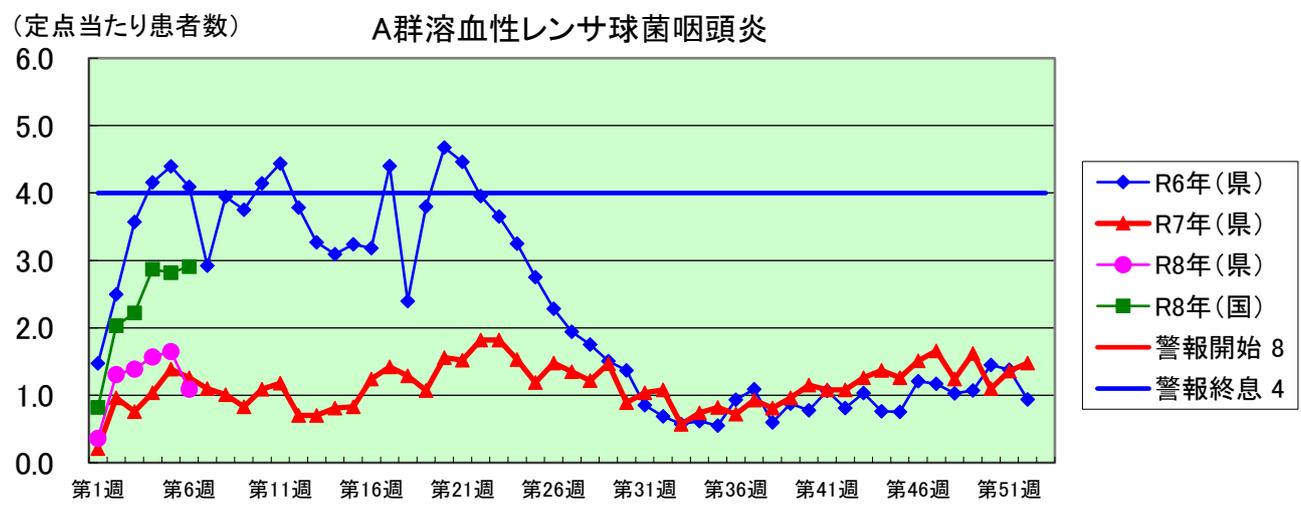
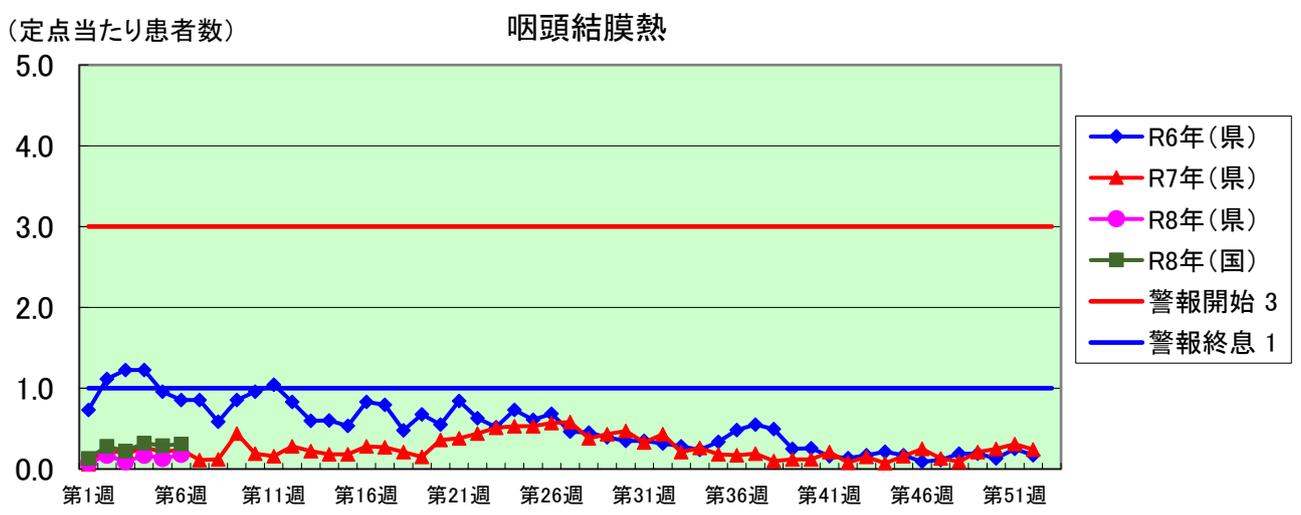
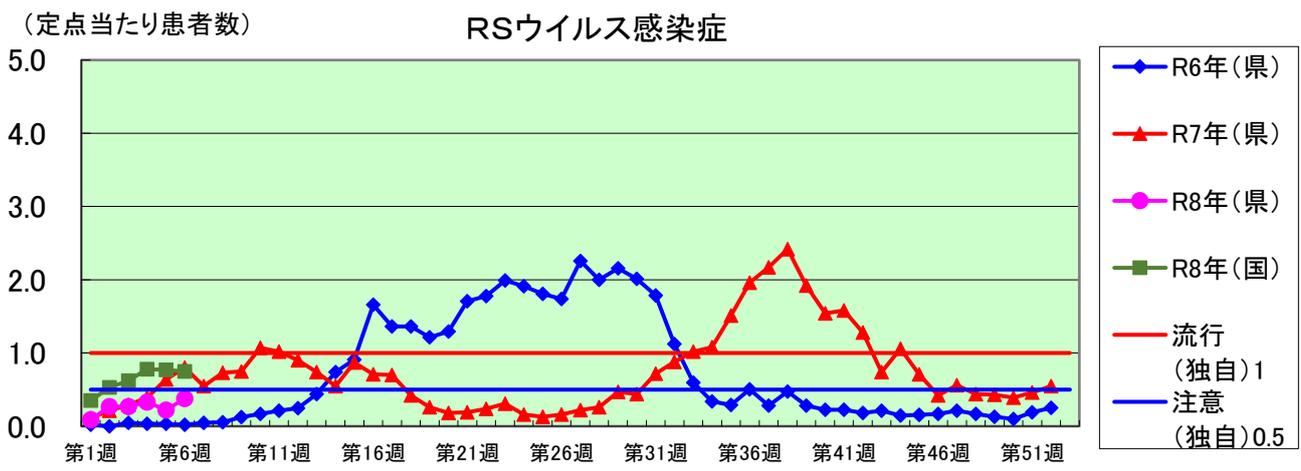
*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

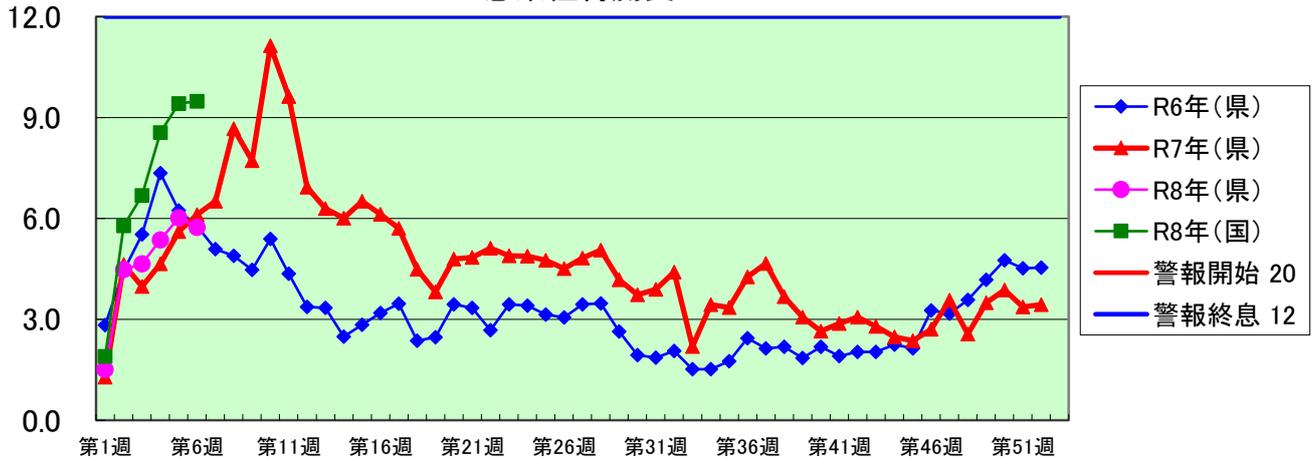
2026 第 6 週

年齢階級区分(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							計	
RSウイルス感染症	0.15	0.04	0.10	0.04	0.01	0.02		0.01													0.38	
咽頭結膜熱		0.01	0.07	0.03	0.01	0.01		0.01	0.02		0.01										0.18	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.01	0.10	0.09	0.12	0.08	0.15	0.08	0.11	0.12	0.18	0.01	0.03							1.09	
感染性胃腸炎	0.04	0.24	0.73	0.82	0.63	0.37	0.46	0.48	0.16	0.40	0.20	0.63	0.07	0.49							5.73	
水痘		0.02	0.01						0.04		0.01	0.03	0.01	0.01							0.15	
手足口病			0.01		0.01																0.02	
伝染性紅斑		0.01	0.01	0.02	0.01	0.08	0.03	0.03	0.01	0.01											0.22	
突発性発しん		0.06	0.09	0.01	0.01																0.17	
ヘルパンギーナ																					0.00	
流行性耳下腺炎		0.03																			0.03	
年齢階級区分(小児科・内科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計	
インフルエンザ	0.07	0.22	0.83	1.05	1.36	2.17	2.54	3.73	3.91	4.67	4.67	18.94	4.62	1.37	2.16	2.32	0.50	0.37	0.28	0.24	56.00	
新型コロナウイルス感染症	0.01	0.06	0.05	0.08	0.03	0.07	0.02	0.06	0.12	0.04	0.07	0.28	0.08	0.12	0.19	0.17	0.21	0.11	0.27	0.32	2.37	
年齢階級区分(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計		
急性出血性結膜炎																				0	0.00	
流行性角結膜炎								0.05				0.05				0.10		0.05		0	0.23	
年齢階級区分(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上						計
細菌性髄膜炎																					0.00	
無菌性髄膜炎																					0.00	
マイコプラズマ肺炎				0.30																	0.30	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					0.00	
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					0.00	



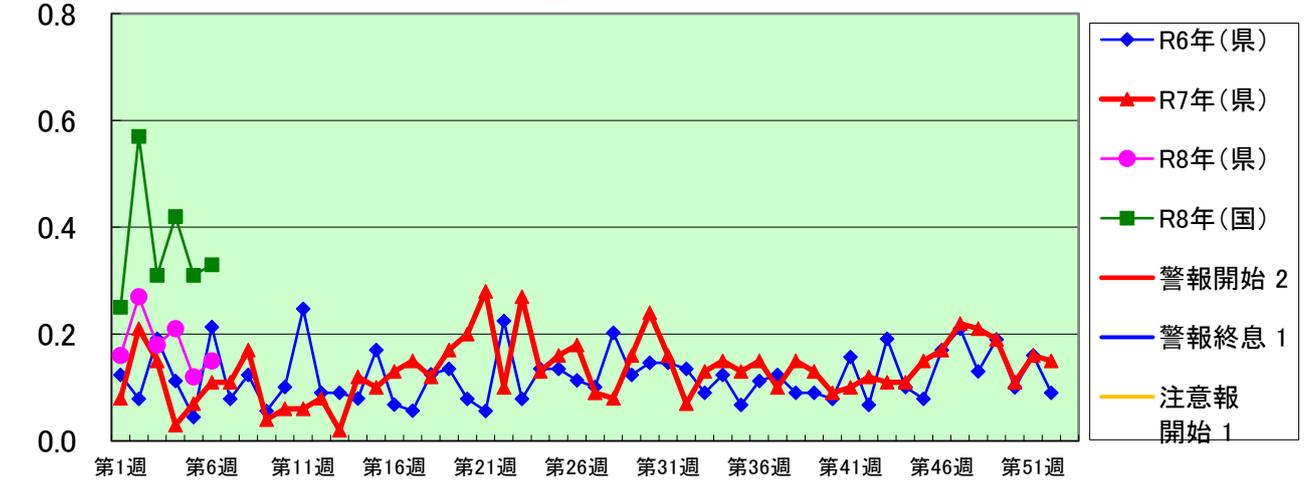
(定点当たり患者数)

感染性胃腸炎



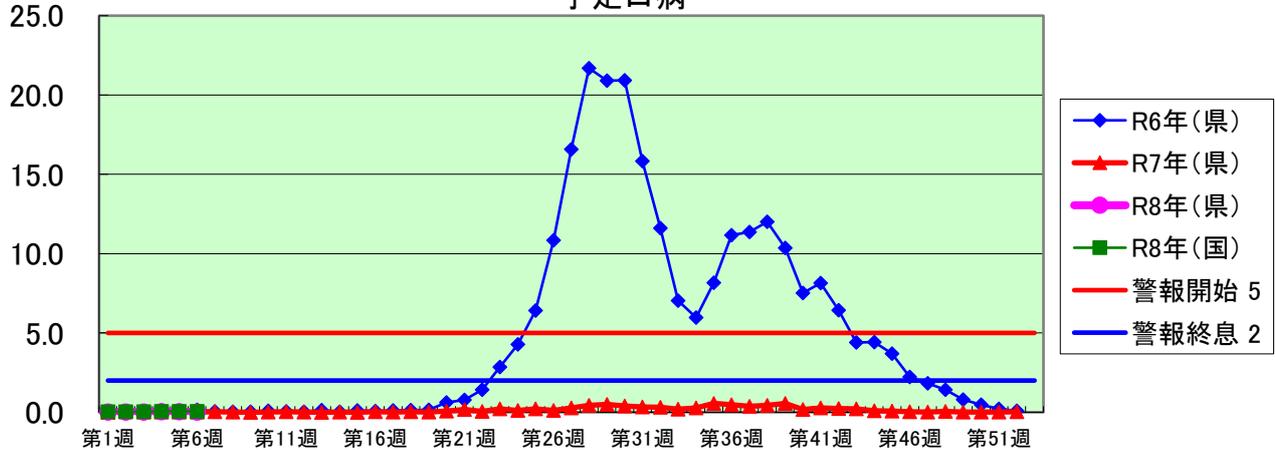
(定点当たり患者数)

水痘



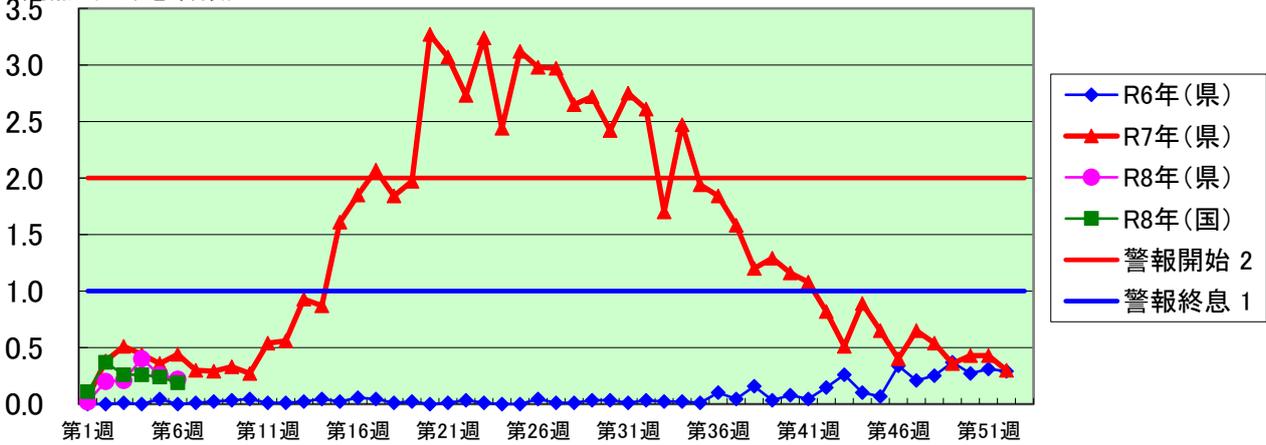
(定点当たり患者数)

手足口病



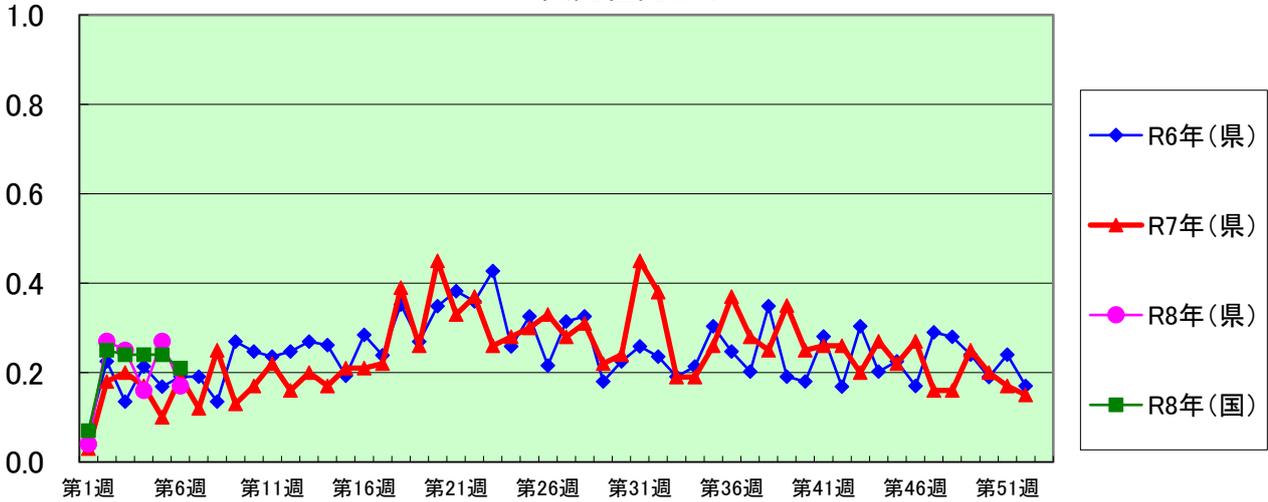
(定点当たり患者数)

伝染性紅斑



(定点当たり患者数)

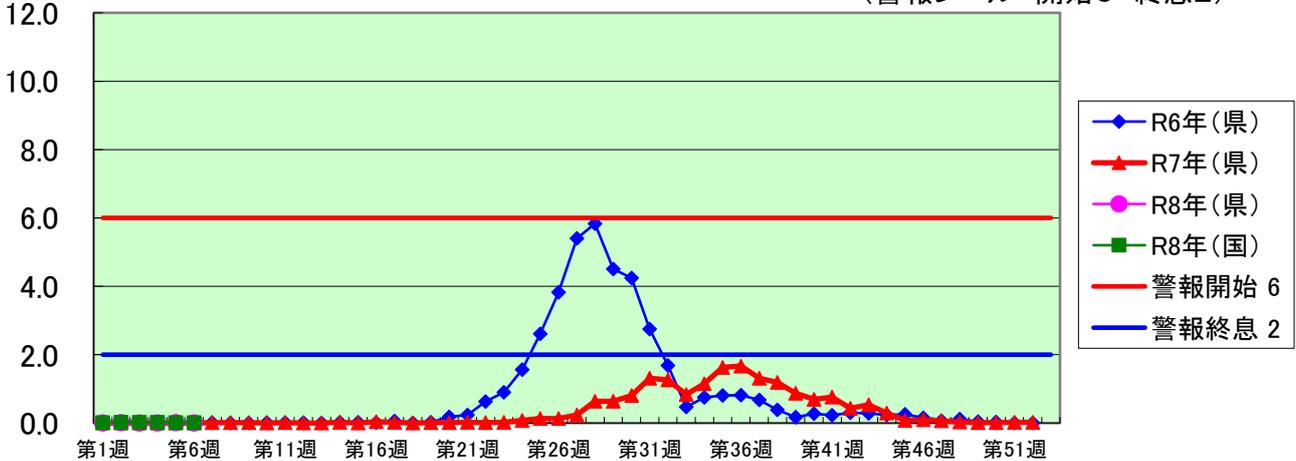
突発性発しん



(定点当たり患者数)

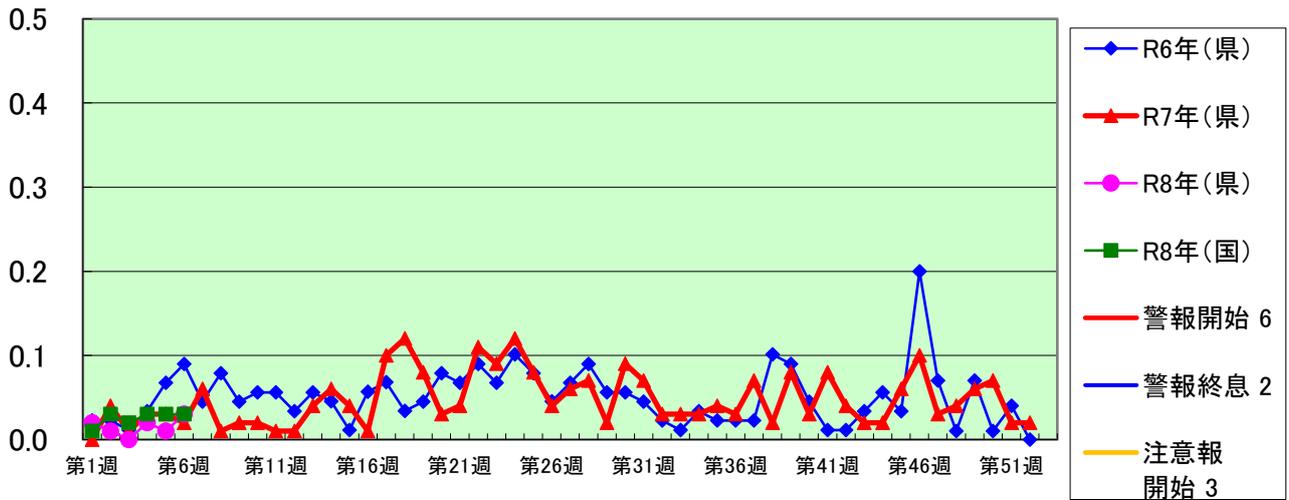
ヘルパンギーナ

(警報レベル 開始6 終息2)



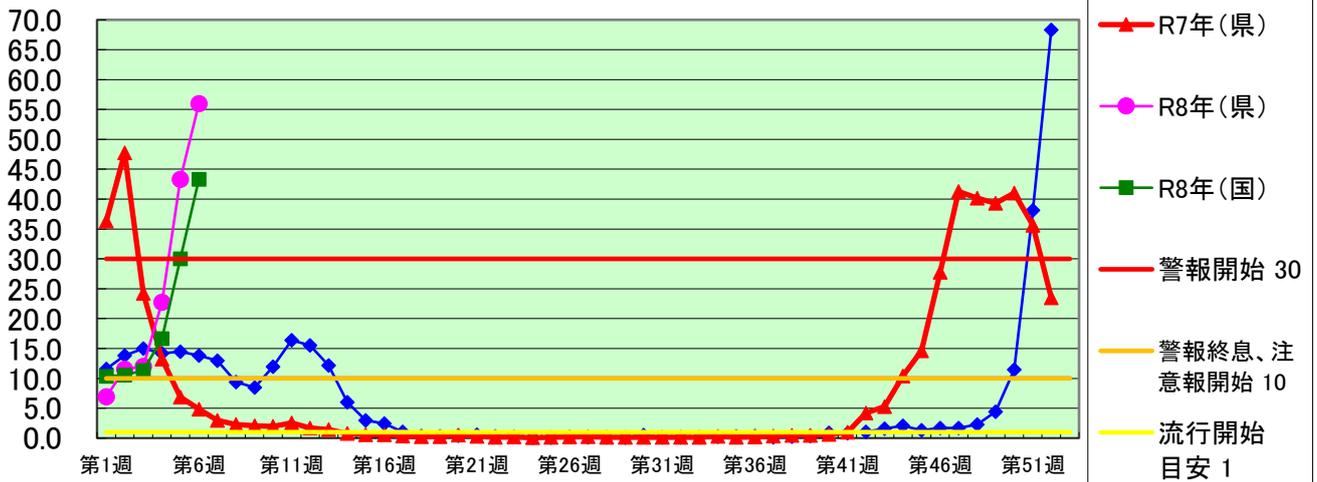
(定点当たり患者数)

流行性耳下腺炎



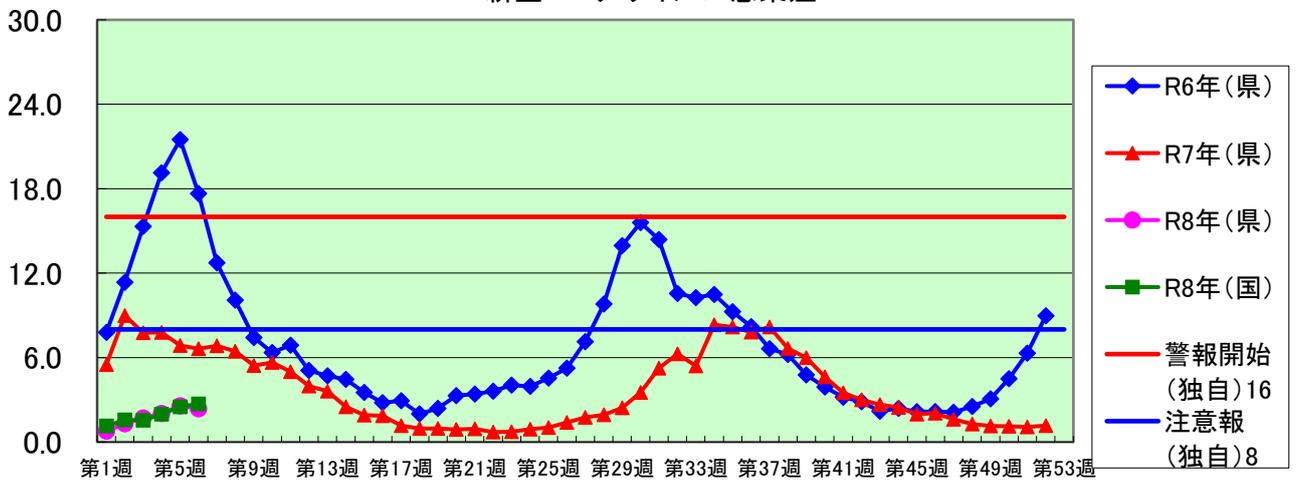
(定点当たり患者数)

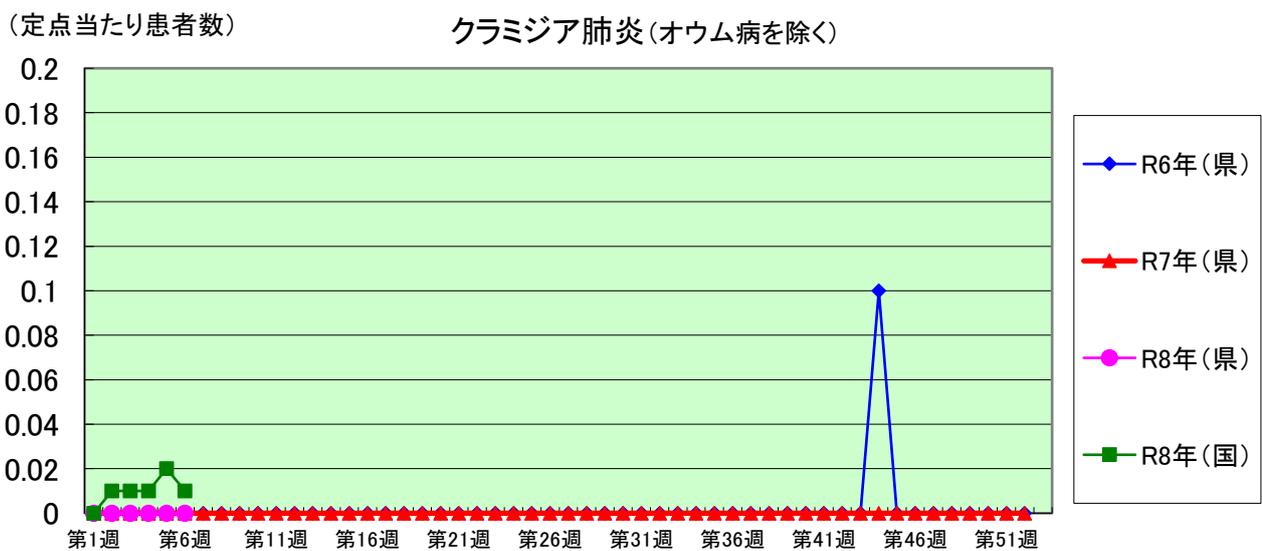
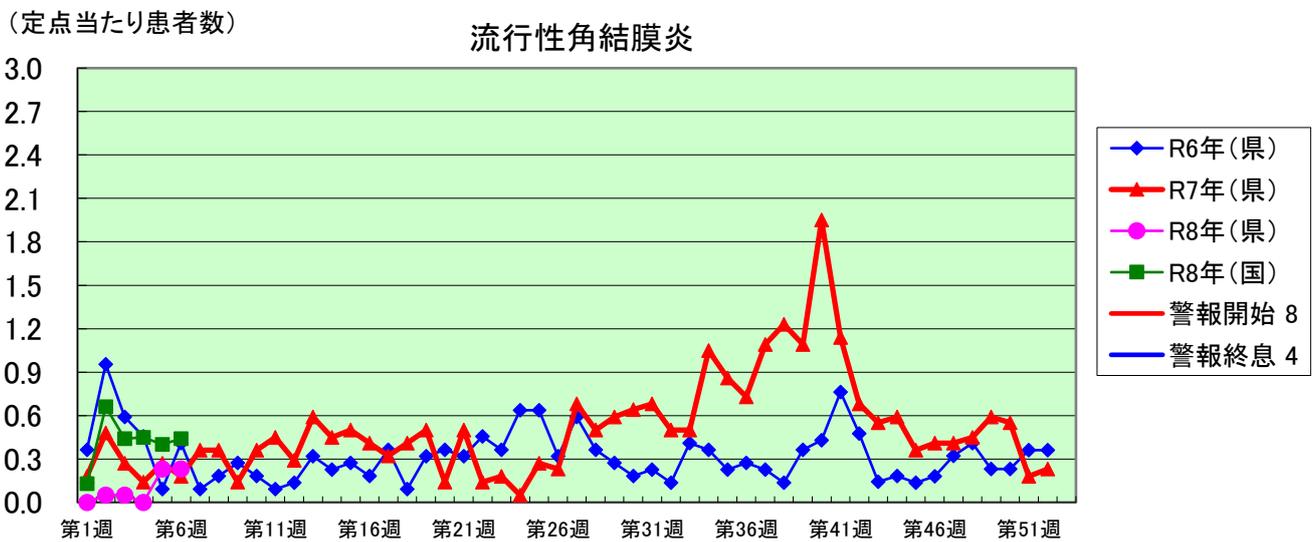
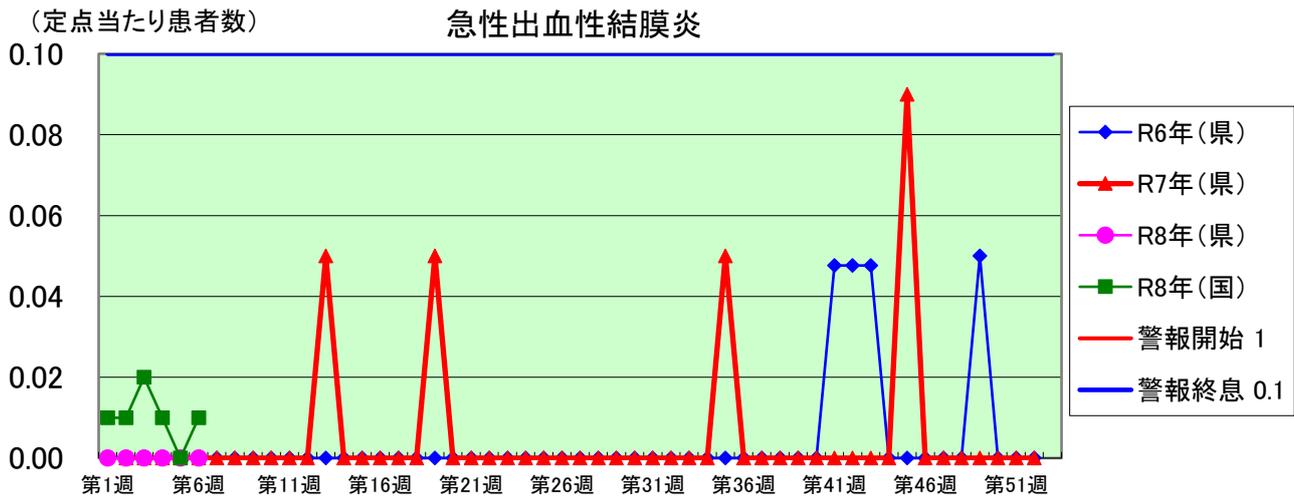
インフルエンザ



(定点当たり患者数)

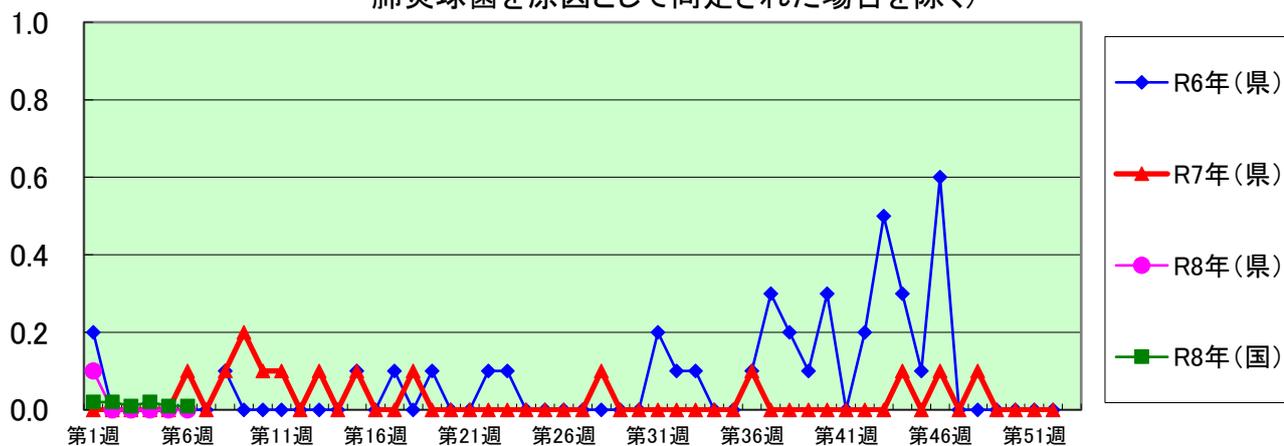
新型コロナウイルス感染症





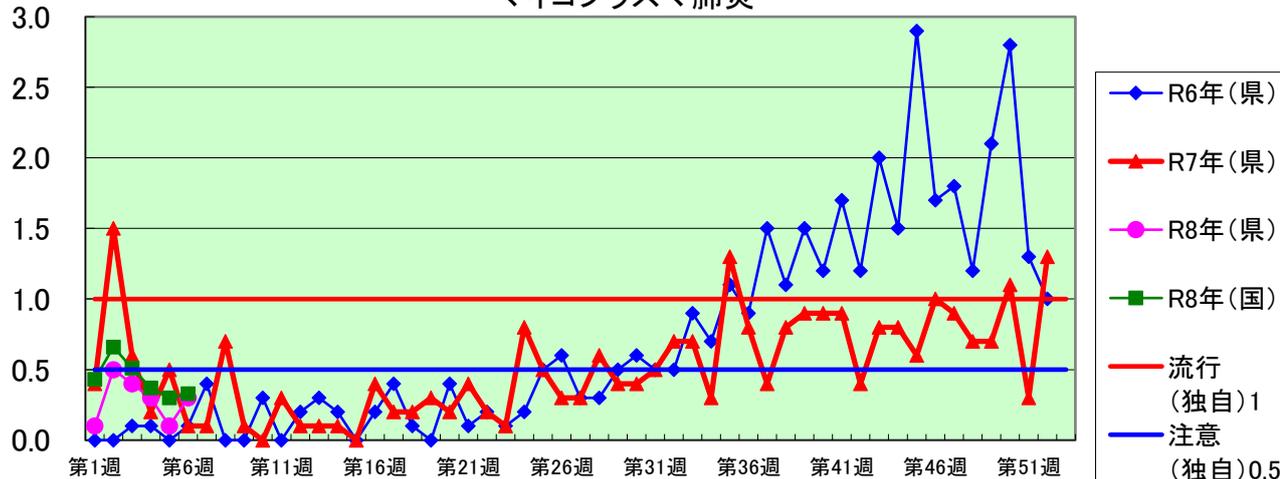
細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)

(定点当たり患者数)



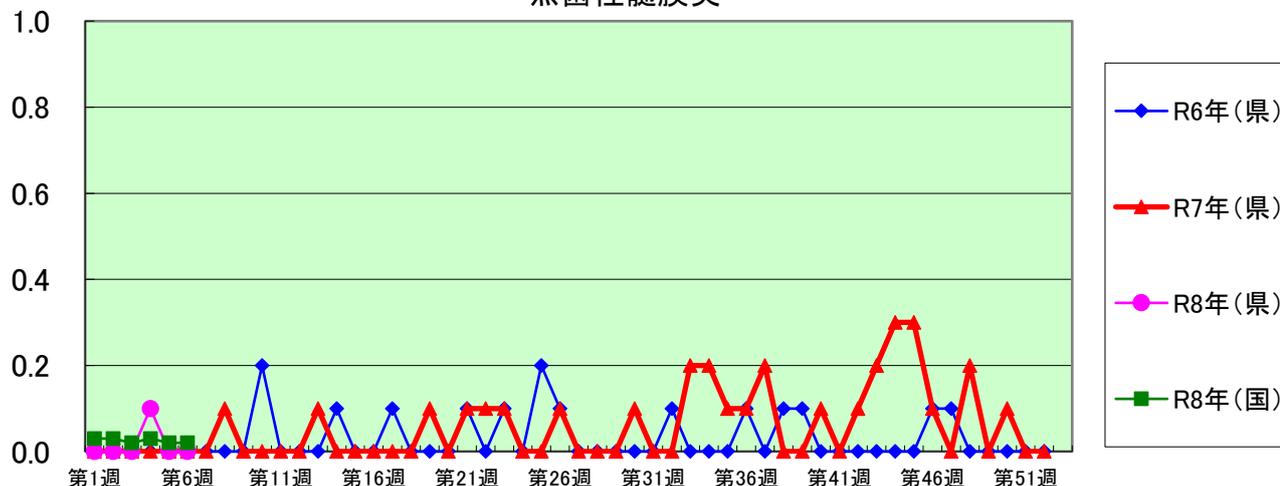
(定点当たり患者数)

マイコプラズマ肺炎



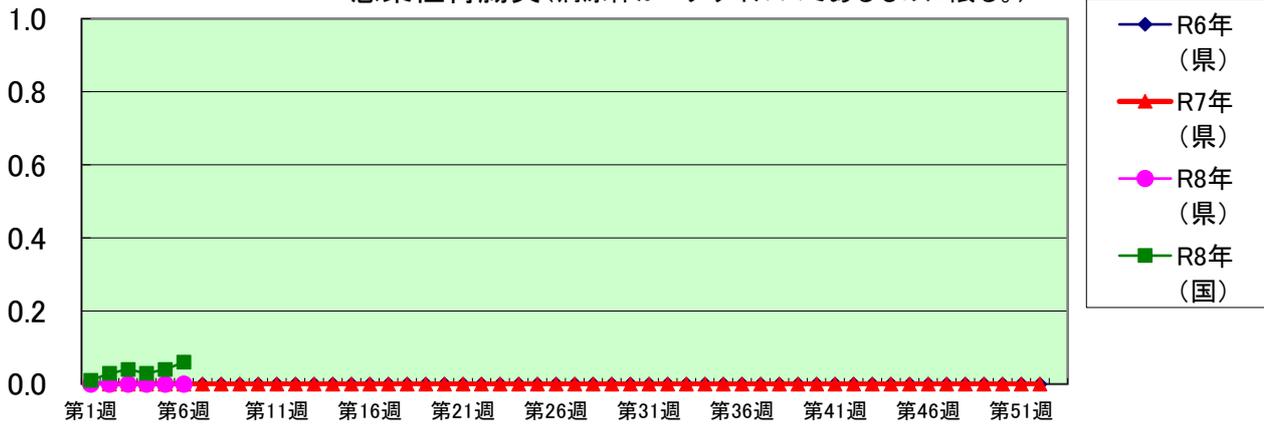
(定点当たり患者数)

無菌性髄膜炎



(定点当たり患者数)

感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2026年 1 月

	静岡県							全国				
	8月	9月	10月	11月	12月	今月	計	10月	11月	12月	今月	計
性器クラミジア感染症	39	52	39	40	41	33	244	2,595	2,295	2,136	2,279	9,305
性器ヘルペスウイルス感染症	11	13	14	16	16	9	79	908	904	932	890	3,634
尖圭コンジローマ	7	9	10	10	11	3	50	534	472	482	457	1,945
淋菌感染症	11	9	12	11	9	15	67	762	643	576	712	2,693
性器クラミジア感染症(男)	14	18	20	13	17	12	94	1,266	1,140	1,053	1,153	4,612
性器クラミジア感染症(女)	25	34	19	27	24	21	150	1,329	1,155	1,083	1,126	4,693
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	3	4	5	8	6	1	27	358	339	353	342	1,392
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	8	9	9	8	10	8	52	550	565	579	548	2,242
尖圭コンジローマ(男)	3	5	7	6	6	-	27	367	320	329	320	1,336
尖圭コンジローマ(女)	4	4	3	4	5	3	23	167	152	153	137	609
淋菌感染症(男)	6	7	7	8	8	12	48	573	488	426	562	2,049
淋菌感染症(女)	5	2	5	3	1	3	19	189	155	150	150	644
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	17	23	11	32	34	28	145	1,181	1,233	1,304	1,346	5,064
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	-	1	-	-	-	1	22	24	34	41	121
薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	8	9	9	5	31

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2026年 1 月

	静岡県						全国			
	8月	9月	10月	11月	12月	今月	10月	11月	12月	今月
性器クラミジア感染症	1.30	1.73	1.30	1.33	1.37	1.10	2.67	2.34	2.19	2.35
性器ヘルペスウイルス感染症	0.37	0.43	0.47	0.53	0.53	0.30	0.93	0.92	0.95	0.92
尖圭コンジローマ	0.23	0.30	0.33	0.33	0.37	0.10	0.55	0.48	0.49	0.47
淋菌感染症	0.37	0.30	0.40	0.37	0.30	0.50	0.78	0.66	0.59	0.74
性器クラミジア感染症(男)	0.47	0.60	0.67	0.43	0.57	0.40	1.30	1.16	1.08	1.19
性器クラミジア感染症(女)	0.83	1.13	0.63	0.90	0.80	0.70	1.37	1.18	1.11	1.16
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.10	0.13	0.17	0.27	0.20	0.03	0.37	0.35	0.36	0.35
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.27	0.30	0.30	0.27	0.33	0.27	0.57	0.58	0.59	0.57
尖圭コンジローマ(男)	0.10	0.17	0.23	0.20	0.20	-	0.38	0.33	0.34	0.33
尖圭コンジローマ(女)	0.13	0.13	0.10	0.13	0.17	0.10	0.17	0.15	0.16	0.14
淋菌感染症(男)	0.20	0.23	0.23	0.27	0.27	0.40	0.59	0.50	0.44	0.58
淋菌感染症(女)	0.13	0.13	0.10	0.13	0.17	0.10	0.19	0.16	0.15	0.15
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.70	2.30	1.10	3.20	3.40	2.80	2.48	2.57	2.73	2.83
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	-	0.10	-	-	-	0.05	0.05	0.07	0.09
薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	0.02	0.02	0.02	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)保健所別集計表

2026年 1 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	33	1.10	9	0.30	3	0.10	15	0.50
賀茂
熱海	2	2.00	-	-	-	-	-	-
東部	3	0.60	-	-	-	-	-	-
御殿場	2	2.00	2	2.00	-	-	1	1.00
富士	5	1.67	3	1.00	1	0.33	4	1.33
静岡市	11	1.83	2	0.33	1	0.17	7	1.17
中部	5	1.25	1	0.25	-	-	3	0.75
西部	4	0.80	1	0.20	1	0.20	-	-
浜松市	1	0.20	-	-	-	-	-	-

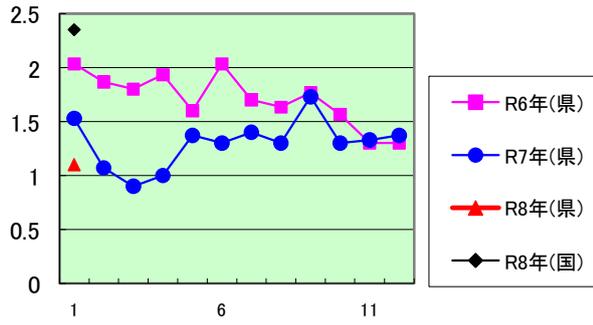
保健所名	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	28	2.80	-	-	-	-
賀茂	4	4.00	-	-	-	-
熱海	-	-	-	-	-	-
東部	-	-	-	-	-	-
御殿場
富士	2	2.00	-	-	-	-
静岡市	11	5.50	-	-	-	-
中部	3	3.00	-	-	-	-
西部	2	2.00	-	-	-	-
浜松市	6	3.00	-	-	-	-

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

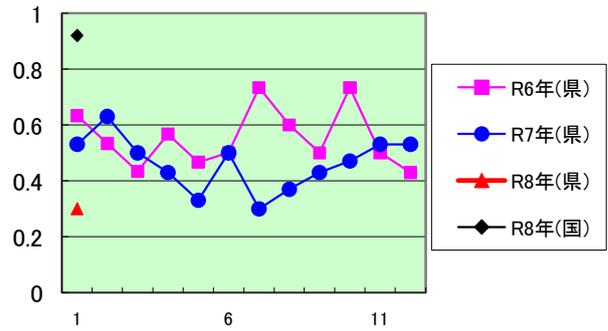
* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

定点把握感染症(月報)推移グラフ

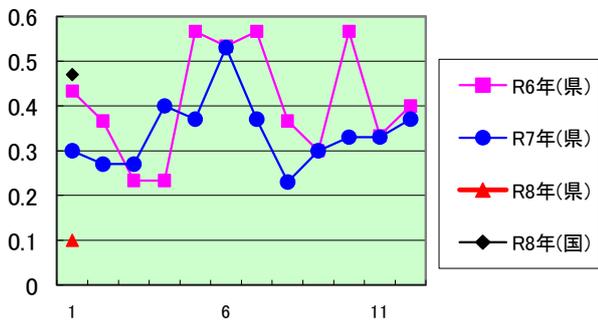
性器クラミジア感染症



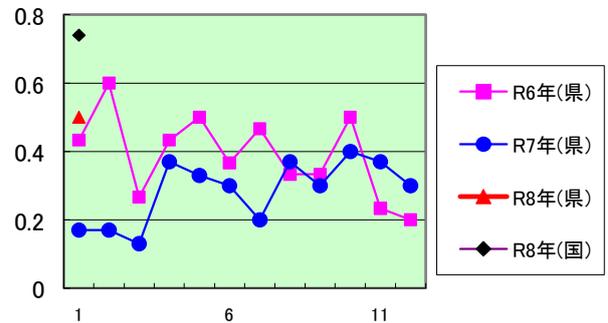
性器ヘルペスウイルス感染症



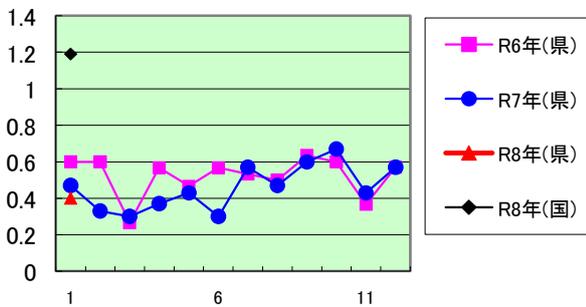
尖圭コンジローマ



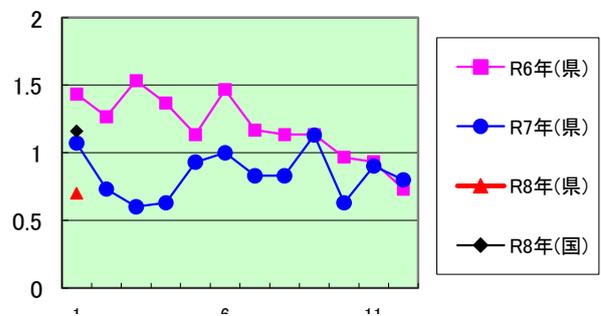
淋菌感染症



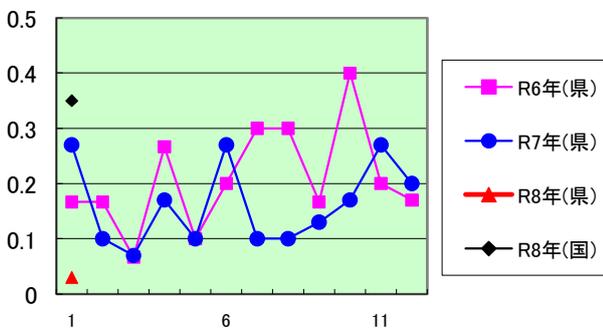
性器クラミジア感染症(男)



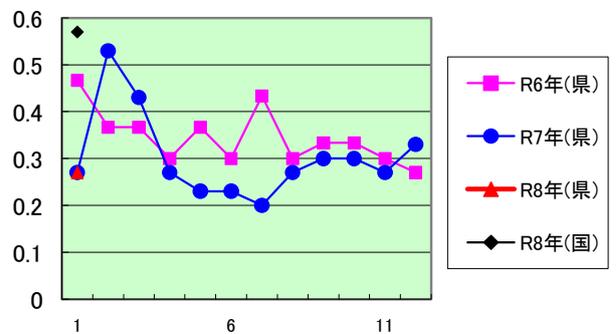
性器クラミジア感染症(女)



性器ヘルペスウイルス感染症(男)

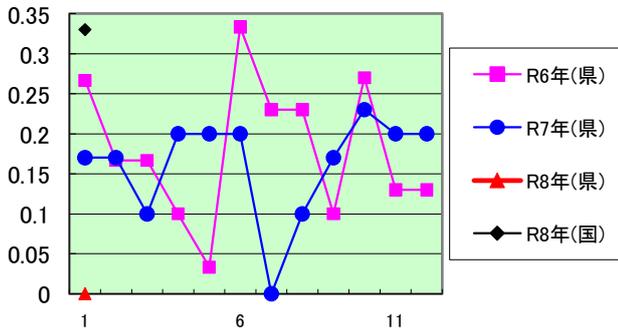


性器ヘルペスウイルス感染症(女)

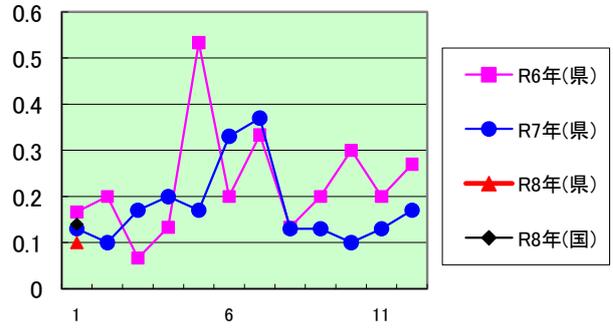


定点把握感染症(月報)推移グラフ

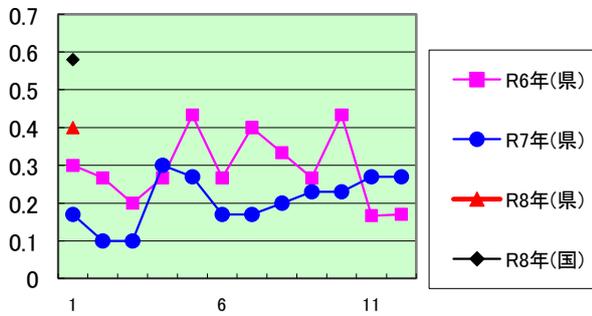
尖圭コンジローマ(男)



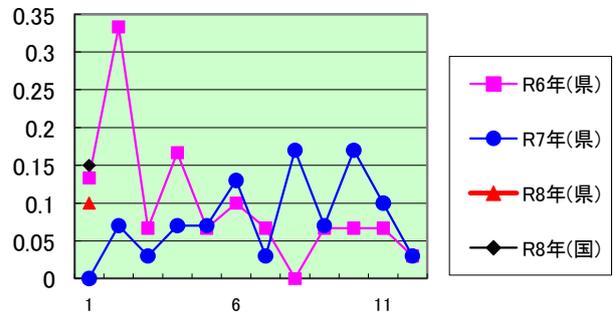
尖圭コンジローマ(女)



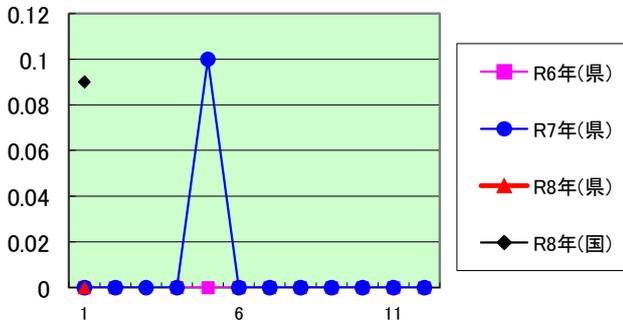
淋菌感染症(男)



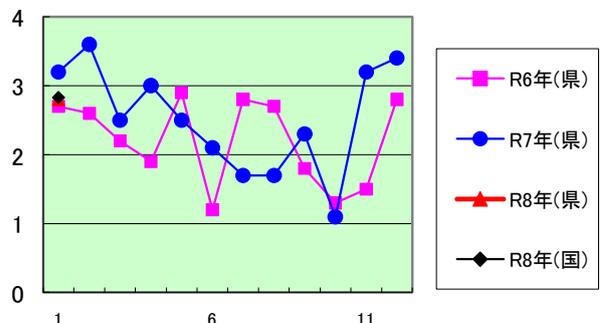
淋菌感染症(女)



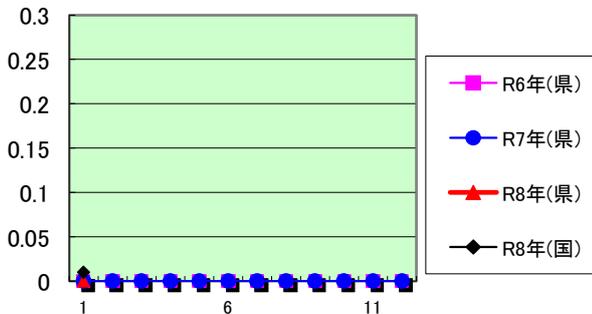
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



薬剤耐性緑膿菌感染症



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

インフルエンザ施設別発生状況(学級閉鎖)について

2026年

第6週

2/2 ~ 2/8

保:保育園 幼:幼稚園 小:小学校 中:中学校 高:高等学校
 特支:特別支援学校 こ:こども園 高専:高等専門学校

市町	学級閉鎖があった 学校・園の施設種別	保	幼	小	中	高	特支	こ	高専	今週 合計	前週	今シーズン 合計
下田市	学校・園の数			1	1					2	4	16
	学校・園の患者数合計			5	51					56	41	242
東伊豆町	学校・園の数			1						1	4	11
	学校・園の患者数合計			7						7	64	164
河津町	学校・園の数			1	1					2	1	3
	学校・園の患者数合計			16	6					22	12	34
南伊豆町	学校・園の数			2	1					3	1	9
	学校・園の患者数合計			36	17					53	5	100
松崎町	学校・園の数				1					1	1	8
	学校・園の患者数合計				28					28	6	130
西伊豆町	学校・園の数			1	1					2	1	6
	学校・園の患者数合計			12	19					31	6	54
熱海市	学校・園の数		1	2	2					5	2	15
	学校・園の患者数合計		9	23	15					47	15	130
伊東市	学校・園の数		1	1	1					3	2	32
	学校・園の患者数合計		3	10	6					19	79	472
沼津市	学校・園の数		2	10	8	3				23	13	93
	学校・園の患者数合計		33	228	119	100				480	242	1,947
三島市	学校・園の数			4	3	2				9	10	54
	学校・園の患者数合計			62	59	23				144	142	1,196
裾野市	学校・園の数			3	2	1				6	4	37
	学校・園の患者数合計			65	34	15				114	86	543
伊豆市	学校・園の数			1						1	0	5
	学校・園の患者数合計			8						8	0	125
伊豆の国市	学校・園の数			4	3	1				8	4	35
	学校・園の患者数合計			127	165	12				304	42	778
函南町	学校・園の数		1	3						4	3	21
	学校・園の患者数合計		6	49						55	88	422
清水町	学校・園の数			1						1	1	9
	学校・園の患者数合計			20						20	7	163
長泉町	学校・園の数			2	1					3	3	26
	学校・園の患者数合計			76	34					110	53	594
御殿場市	学校・園の数			5	4		1	1		11	4	83
	学校・園の患者数合計			118	71		5	8		202	137	1,232
小山町	学校・園の数			1						1	3	22
	学校・園の患者数合計			14						14	23	203
富士市	学校・園の数		1	12	5	3				21	14	137
	学校・園の患者数合計		10	292	87	137				526	290	2,491
富士宮市	学校・園の数			5	5	1				11	9	68
	学校・園の患者数合計			177	101	95				373	270	1,697
静岡市清水区	学校・園の数			8	7	2				17	21	115
	学校・園の患者数合計			242	170	78				490	493	2,495
静岡市葵区	学校・園の数		1	13	10	7				31	21	126
	学校・園の患者数合計		3	182	253	182				620	471	2,774
静岡市駿河区	学校・園の数			10	4					14	11	79
	学校・園の患者数合計			321	138					459	247	1,831

インフルエンザ施設別発生状況(学級閉鎖)について

2026年

第6週

2/2 ~ 2/8

保:保育園 幼:幼稚園 小:小学校 中:中学校 高:高等学校
 特支:特別支援学校 こ:こども園 高専:高等専門学校

市町	学級閉鎖があった 学校・園の施設種別	保	幼	小	中	高	特支	こ	高専	今週 合計	前週	今シーズン 合計
島田市	学校・園の数			9	5	3				17	17	83
	学校・園の患者数合計			387	193	41				621	445	2,018
焼津市	学校・園の数		1	9	5	3				18	15	90
	学校・園の患者数合計		4	172	73	112				361	384	1,926
藤枝市	学校・園の数		1	10	7	2				20	18	120
	学校・園の患者数合計		6	493	241	52				792	356	2,601
牧之原市	学校・園の数		1	4	2	2				9	5	36
	学校・園の患者数合計		10	52	50	58				170	110	631
吉田町	学校・園の数			3	1					4	1	16
	学校・園の患者数合計			224	68					292	38	623
川根本町	学校・園の数									0		2
	学校・園の患者数合計									0		12
磐田市	学校・園の数		1	9	5	2				17	9	116
	学校・園の患者数合計		5	266	97	82				450	98	2,614
掛川市	学校・園の数			14	3	2	1			20	16	116
	学校・園の患者数合計			400	62	177	10			649	320	2,532
袋井市	学校・園の数		2	3	2	2				9	7	59
	学校・園の患者数合計		11	66	86	52				215	147	1,179
湖西市	学校・園の数			3	2	1				6	0	31
	学校・園の患者数合計			39	14	9				62	0	541
御前崎市	学校・園の数			3	1	1				5	4	18
	学校・園の患者数合計			98	8	13				119	109	435
菊川市	学校・園の数			4	1					5	4	28
	学校・園の患者数合計			47	11					58	70	408
森町	学校・園の数			2						2	1	14
	学校・園の患者数合計			11						11	8	436
浜松市中央区	学校・園の数		1	39	15	11				66	60	404
	学校・園の患者数合計		6	1,024	428	279				1,737	1,297	8,743
浜松市浜名区	学校・園の数		1	8	5	3	1			18	18	119
	学校・園の患者数合計		8	195	118	189	11			521	501	2,700
浜松市天竜区	学校・園の数			1						1	4	12
	学校・園の患者数合計			21						21	49	180
県内合計	学校・園の数		15	212	114	52	3	1		397	316	2,274
	学校・園の患者数合計		114	5,585	2,822	1,706	26	8		10,261	6,751	47,396
2025-2026 シーズン 施設別合計	学校・園の数	21	112	1,194	550	321	22	54				
	学校・園の患者数合計	212	1,010	24,140	11,426	9,684	259	665				

・引き続き、咳エチケット※、手洗い、換気等、基本的な感染対策をお願い致します。
 (※ 咳をするときに服のそでやハンカチで口鼻をおおう、マスクの適切な着用が可能なら咳の出るときはマスクを着ける)

新型コロナ変異株ゲノム解析結果について（月1回更新しています）

<変異株の件数> 12月22日（月）～1月25日（日）判明分（解析なし）

保健所	賀茂	熱海	東部	御殿場	富士	中部	西部	合計
デルタ株	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株	0	0	0	0	0	0	0	0
	(内BA.2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	(内BA.5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	(内組換体)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

本県の変異株の判明状況（1月25日時点）

		合計	県	静岡市	浜松市
合計 (デルタ株+オミクロン株)	判明者数	11,325	6,435	2,482	2,408
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
デルタ株 (R3.5.16～)	判明者数	2,411	1,256	648	507
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
オミクロン株 (R4.1.1～)	判明者数	8,914	5,179	1,834	1,901
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、BA.2】	判明者数	2,172	1,130	562	480
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、BA.5】	判明者数	3,515	2,399	831	285
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、組換体】	判明者数	903	525	106	272
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)

※県：国立遺伝学研究所でゲノム解析を実施

静岡市：国立感染症研究所でゲノム解析を実施

浜松市：浜松市保健環境研究所でゲノム解析を実施

過去1年間の本県の変異株（オミクロン株）の判明状況（1月25日時点）

	オミクロン株判明数			全オミクロン株に占める割合			
	合計	内、BA. 2	内、BA. 5	内、組換え体	BA. 2	BA. 5	組換え体
12月23日（月）～ 1月26日（日）	44	26	0	18	59.1%	0.0%	40.9%
1月27日（月）～ 2月23日（日）	28	14	0	14	50.0%	0.0%	50.0%
2月24日（月）～ 3月23日（日）	24	9	0	15	37.5%	0.0%	62.5%
3月24日（月）～ 4月20日（日）	11	3	0	8	37.5%	0.0%	62.5%
4月21日（月）～ 5月25日（日）	5	2	0	3	37.5%	0.0%	62.5%
5月26日（月）～ 6月22日（日）	4	4	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
6月23日（月）～ 7月27日（日）	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
7月28日（月）～ 8月24日（日）	7	6	0	1	85.7%	0.0%	14.3%
8月25日（月）～ 9月21日（日）	3	3	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
9月22日（月）～ 10月26日（日）	21	19	0	2	90.5%	0.0%	9.5%
10月27日（月）～ 11月23日（日）	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
11月24日（月）～ 12月21日（日）	3	3	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
12月22日（月）～ 1月25日（日）	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

ゲノム解析結果の系統別判明数（政令市含む）

12月22日（月）～1月25日（日）判明分（解析なし）

系統名	判明数
PQ	0
NB. 1. 8. 1	0
KP. 3	0
その他のKP	0
XEC	0
その他	0
計	0